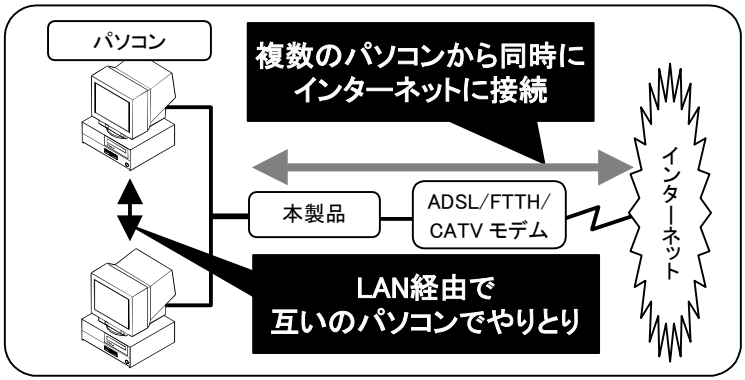
I·O DATA

NP-BBRE 取扱説明書

116114-01

【本製品を使えば…】

本製品を使えば、複数台のパソコンから同時に ADSL/FTTH/CATV 経由でインターネットに接続できるようになります。また、本製品に接続したパソコン同士のデータのやりとりもできるようになります。



【ご注意】

1) 本製品および本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品および本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社PLANTコールセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継機、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
7) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
8) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
9) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

● I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
● Microsoft,Windows,Windows NTは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

もくじ ····· 1
必ずお守りください····· 4
使用上の注意····· 10

本製品を使うまでの手順

以下の流れにしたがって、本製品を使う環境をつくりましょう。

【接続する前にすること】
使う前に ····· 11
箱の中を確認する····· 12
動作環境を確認する····· 13
各部のなまえとはたらき····· 18

【本製品を設定するための準備】
設定用パソコンをつなぐ····· 19
１. つなぐ前に確認する····· 20
２. 本製品を設置する····· 25
３. 設定用パソコンをつなぐ····· 26

【設定用パソコンの準備をする】
設定準備をする ····· 27
１. IPアドレスを設定する····· 28
２. IPアドレスを確認する····· 39
３. Webブラウザを設定する····· 43
４. メニュー画面を起動する····· 50

【インターネットに接続するための設定をする】
インターネットに接続する····· 55
接続回線を確認する····· 56
PPPoEで使用する····· 58
（ADSLやFTTHなど）
PPPoE以外で使用する····· 67
（CATVや一部のADSLなど）

必要なときに読むところ

本製品の付属情報や使用中のトラブルがあったときの解決法です。

その他の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79

LAN側設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・80
（本製品のIPアドレスやDHCPサーバー機能を設定する）
MACアドレス接続制限・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・81
（接続できるパソコンを限定する）
バーチャルサーバ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・82
（Webサーバなどをインターネット上で公開する）
特殊アプリケーション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・83
（特殊なアプリケーションのポートを設定する）
パケットフィルタ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・84
（使用できるアプリケーションを限定する）
ステータス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・89
（現在の接続・設定状態を確認する）
管理設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・92
（パスワード、セキュアホスト、DMZホストを設定する）
本体再起動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・98
（本製品内部で再起動させる）
初期設定に戻す・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・99
（設定をすべて初期の設定に戻す）
ファームウェア更新・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・100
（本製品のファームウェアを更新する）
［Reset］ボタンによる初期設定への戻し方・・・・・・101
（本製品前面の［Reset］ボタンでの操作）

Windows Messengerについて ・・・・・・・・・・・・・ 103

Windows Messengerを利用する・・・・・・・・・・・・・・・・・104
UPnPを設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・105

その他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 109
困った時には・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 110
TCP/IPの基礎知識・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 120
用語解説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 127
仕様・・ 134

アフターサービス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 136

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。
弊社の本製品以外の製品全般についての内容も記載しています。

■警告及び注意表示

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例） 「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例） 「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告



本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守し、正しい手順で使用してください。

警告・注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。



本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。



煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源がある場合は、電源を切ってコンセントからプラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- ●接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。指定品以外を使用すると火災や故障の原因となります。
- ●ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。
- ●給電されているLANケーブルは絶対に接続しないでください。給電されているLANケーブルを接続した場合には発煙したり、火災の原因となることがあります。



本製品の取り付け、取り外し、移動の際は、必ずパソコン本体・周辺機器の電源を切り、本製品の電源ケーブルのプラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

電源ケーブルを抜かずに行うと、感電および故障の原因となります。


水濡れ
禁止

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。


厳守

決められた電流内で使用してください。

本製品を出力電流の絶対最大定格を超えた電流で使用または保管すると火災・感電・故障の原因となります。


禁止

故障や異常のまま、通電しないでください。

本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンから取り外してください。また、電源や AC アダプタがある場合は、通電をしないでください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。


禁止

日本国外で使用できません。


厳守

本製品は安定した場所に設置してください。

ぐらついた台の上や傾いたところには置かないでください。
落ちたり、倒れたりして事故の原因となります。水平なところに置いてください。

電源ケーブルについて


厳守


感電注意


発火注意

電源ケーブルの取り扱いは以下のことにご注意ください。

●電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。

●電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張ると、断線または短絡して、火災・感電・故障の原因となります。

●濡れた手で電源ケーブルのプラグを、コンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。

●電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。

●電源ケーブルのプラグはほこりが付着していないことを確認し、根本までしっかり差し込んでください。ほこりなどが付着していると接触不良で火災の原因となります。

ACアダプタについて


厳守


感電注意


発火注意

AC アダプタの取り扱いは以下のことにご注意ください。

火災・感電の原因となります。

●ACアダプタを使用する際は、必ず添付のACアダプタもしくは指定のACアダプタを使用してください。

●ACアダプタの上にものをのせたり、かぶせたりしないでください。

●ACアダプタを保温・保湿性の高いもの（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）の上ではご使用にならないでください。

●ACアダプタはAC100V以外の電圧で使用しないでください。
本製品に添付のACアダプタは、AC100V専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。

⚠ 注意



本製品を使用する際に、取扱説明書などでの操作手順説明と異なった操作をしてデータが消失した場合は、データの保証は一切いたしかねます。

取扱説明書などで、操作方法を確認して操作してください。
また、故障に備えて定期的にバックアップを行ってください。
修理の際、検査のためにデータの消去などを行う場合があります。修理にお出しになる前にもバックアップを行ってください。



本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温湿度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力・電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●本製品に通風孔がある場合は、その通風孔をふさぐような場所
  （保管は問題ありません）
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所
- ●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所（保管は問題ありません）



本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- ●落としたり、衝撃を加えたりしない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない


禁止

パソコンから本製品にアクセス中（インジケータが点滅および点灯中）に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。


厳守

ケーブルについて

- ●ケーブルは足などに引っ掛からないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因となります。
- ●熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接触不良などの原因になります。

使用上の注意

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては十分注意してください。

■取り扱い上の注意

・コネクタ部分に金属を差し込まないでください。
・ぬらさないでください。
・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは高周波の信号により、ノイズを与えることがあります。
・モータなどノイズが発生する機器の近くでは誤動作することがありますので、必ず離してお使いください。

■誤接続の注意

LAN/WANコネクタ（RJ-45）には、適応規格外のケーブル（電話用ケーブル、INSケーブルなど）を挿し込まないでください。

■修理について

・本製品の修理は弊社修理センターにご依頼ください。
改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

使う前に

ここでは、本製品を使う前の作業について、順を追って説明しています。

箱の中を確認する

内容物リストを確認します。

▼

12ページ

動作環境を確認する

本製品を使うことができる機種などを確認します。

▼

13ページ

各部のなまえとはたらき

本製品の各部のなまえとはたらきを確認します。

18ページ

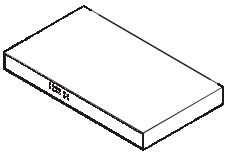
箱の中を確認する

ご使用の前に、以下のものがそろっていることを ☐ にチェックをつけながら、ご確認ください。万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

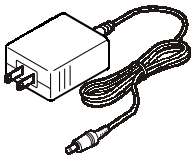
注意！

- **箱や梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。**
- **イラストは若干異なる場合があります。**

☐ 本製品

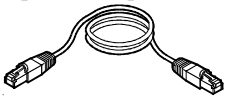


☐ ACアダプタ（1個）



☐ LANケーブル（1本：約1m）

※ストレートケーブル
［カテゴリ5］

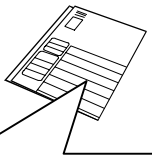


本製品とADSL/FTTH/CATVモデムを接続する際、または本製品とパソコンを接続する際に使用

☐ ハードウェア保証書（1枚）

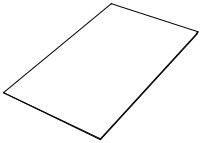


☐ ユーザー登録カード（1枚）



ユーザー登録はお済みですか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。
登録してから次ページへ進みましょう。

☐ クイックガイド（1枚）



☑ 取扱説明書（1冊）

本書



動作環境を確認する

本製品の動作環境を確認します。

本製品を導入して使用するには、以下の環境が必要です。

インターネット接続環境

契約

インターネット・サービスを受けるには、ADSL、FTTH、CATV のいずれか（インターネットサービスプロバイダ：ISP）との契約が必要です。
本製品を導入する前に契約しておいてください。



参考

契約後に取得した IP アドレス（ユーザ ID）について

契約後に、プロバイダからインターネットに接続するための［IP アドレス］（あるいは［ユーザ ID］）を取得します。
取得する IP アドレスは、「固定の IP アドレス」、「サーバーからの自動割り当て」などプロバイダによって異なります。
取得した［IP アドレス］（あるいは［ユーザ ID］）が1つでも、本製品の［NAT/IP マスカレード機能］を利用し、複数台のパソコンでインターネットを利用することができます。

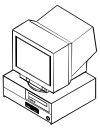
インターネットへの接続確認

本製品を使用する前に、パソコンをモデムに接続して、インターネットに正常に接続できることを確認しておいてください。

資料の準備

本製品を設定する際にも、インターネットサービスプロバイダから入手した設定用の資料が必要ですので、準備しておいてください。

本製品が対応しているパソコン



※本製品は、基本的に“LANインターフェイスを搭載し、TCP/IPが正常に動作するパソコン”であればご利用いただけます。（OSには特に依存しません。）

■Windows対応機種■

パソコン本体	・NEC PC98-NX シリーズ ・DOS/V マシン※1

※1　弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っています。

■Mac OSの対応機種■

パソコン本体	Apple Macintosh シリーズ

■OS■

※弊社では、以下のOSでご利用いただく場合のみをサポート範囲とさせていただいており、UNIX系OSやLinuxなどでご利用いただく場合は保証対象外となりますので、ご了承ください。

サポート対象OS一覧	・日本語 Windows XP ・日本語 Windows 2000 ・日本語 Windows Me ・日本語 Windows 98(Second Edition 含む) ・日本語 Windows 95 ・日本語 Windows NT 4.0 ・Mac OS X （10.1～10.1.5） ・Mac OS 8.0～9.2.2

設定時に必要なソフトウェア

本製品を使用するには、設定が必要です。
設定には、本製品に接続できる１台のパソコン(**設定用パソコン**)
で行います。また、設定用パソコンにはWebブラウザが必要です。

・Webブラウザ
以下のバージョンのWebブラウザが必要です。
お持ちで無い場合は、別途ご用意ください。
・Internet Explorer バージョン5.0以上

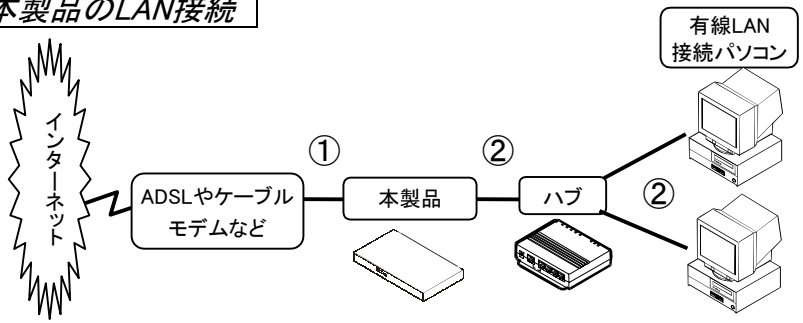


本製品に接続可能なLAN機器

本製品には、ADSL/FTTH/CATVモデム接続用のコネクタ[WAN]とLAN接続用の4つのコネクタ[1、2、3、4]があります。
パソコンは最大4台まで直接LANケーブルで接続できます。5台以上接続する場合は、別途ハブと接続用LANケーブルが必要です。

本製品のLAN接続について

本製品のLAN接続



インターネットとの接続　[図①]
（ADSLやケーブルモデムなどとの接続）

本製品を利用してインターネットをご利用になる場合には、LANケーブルを使用して、本製品とADSL/FTTH/CATVモデムをLAN接続する必要があります。

・LANケーブル

本製品を使用する前に、ADSL/FTTH/CATVをご利用になっていた場合は、モデム⇒パソコン間で使用していたケーブルをそのままご使用ください。



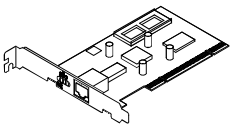
LANケーブル

パソコンとの接続　[図②]
（パソコンのLANアダプタとの接続）

パソコンから本製品を利用（インターネット接続する場合など）するには、本製品とパソコン間をLAN接続する必要があります。

・LANアダプタ

本製品とパソコンをLANで接続します。
その際、パソコン側にはLANアダプタが必要となります。
パソコンにLANアダプタが搭載されていない場合は、別途、LANアダプタが必要です。

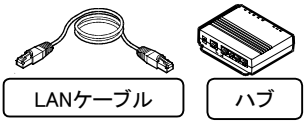


弊社ET100-PCI
シリーズなど

※LANアダプタご利用時には、パソコンへの取り付けと、必要なソフトウェアのインストールが必要です。（詳細は、LANアダプタなどの取扱説明書をご覧ください。）

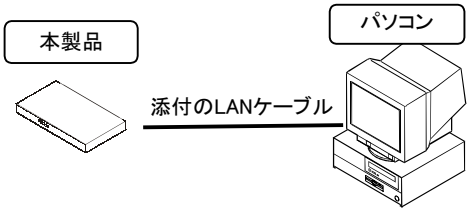
▼LANケーブルとハブ

本製品とパソコンを接続するために、
LANケーブルとハブが必要です。



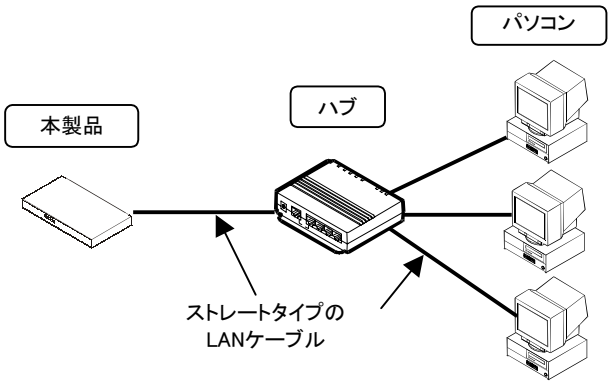
①直接本製品とパソコンを接続する場合

本製品に直接接続できるパソコンは４台です。
LANケーブルは、**添付のLANケーブル**をお使いください。
２台以上接続する場合は台数分のLANケーブルが必要です。
この場合、ハブは必要ありません。



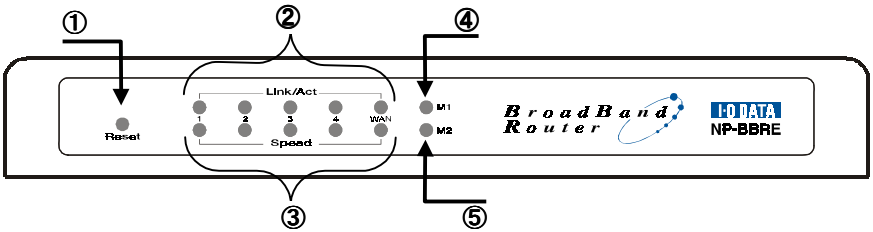
②5台以上のパソコンを接続する場合

複数台のパソコンを本製品に接続するには、別途**ハブ**と台数分の
ストレートタイプのLANケーブルが必要です。
また、本製品とハブ間にもLANケーブルが必要です。
ストレート、クロスどちらのタイプのケーブルでも接続可能です。
（MDI/MDI-X自動判別機能）

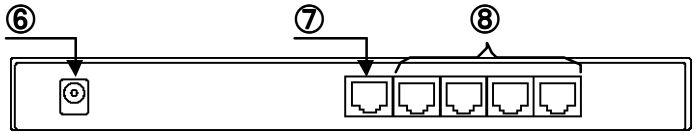


各部のなまえとはたらき

■前面パネル■



■背面■



No	名称	色	用途
①	RESET	-	本製品の設定内容を工場出荷時に戻します。 詳細は【[RESET]ボタンによる初期設定への戻し方】（101ページ）をご覧ください。
②	LINK/ACT 1, 2, 3, 4, WAN	緑	点灯：接続されている状態 点滅：データの送受信が行われている状態 消灯：LANケーブルが接続されていない状態
③	SPEED 1, 2, 3, 4, WAN	緑	点灯：100BASE-TXで接続されている状態 消灯：10BASE-Tで接続されている状態、または LANケーブルが接続されていない状態
④	M1	黄	点滅：システムが正常動作中の状態
⑤	M2	黄	点滅：システム設定中・ファームウェアの更新中 の状態
⑥	DC IN [5V DC]	-	添付のACアダプタを接続します。 DC 5Vを使用します。
⑦	WAN	-	ADSL/FTTH/CATVモデムをLANケーブルで接続するためのコネクタです。（10Mbpsと100Mbpsを自動認識します。）
⑧	1, 2, 3, 4	-	パソコンやハブ（ローカルネットワーク側）を接続するためのコネクタです。（10Mbpsと100Mbpsを自動認識します。接続されたLANケーブルが、ストレートかクロスかを自動認識します。）

設定用パソコンをつなぐ

本製品を設定するためにパソコンをLANケーブルで接続します。
以下の流れにしたがって、本製品と設定用パソコンを接続します。

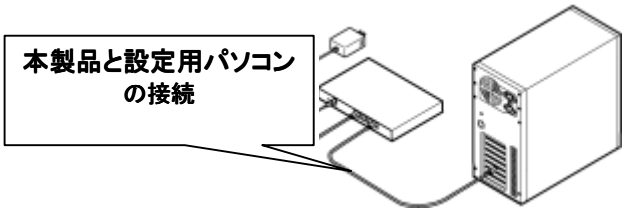
1 *つなぐ前に確認する*・・・・・・・・・・・・・・ 20ページ
本製品を接続する前に、ADSL/FTTH/CATV経由でインターネットに接続できること、設定用パソコンのIPアドレスを確認しておきます。

▼

2 *本製品を設置する* ・・・・・・・・・・・・・・・ 25ページ
本製品の設置に関する注意点を確認します。

▼

3 *設定用パソコンをつなぐ* ・・・・・・・・・・ 26ページ
設定用パソコンを本製品に接続します。



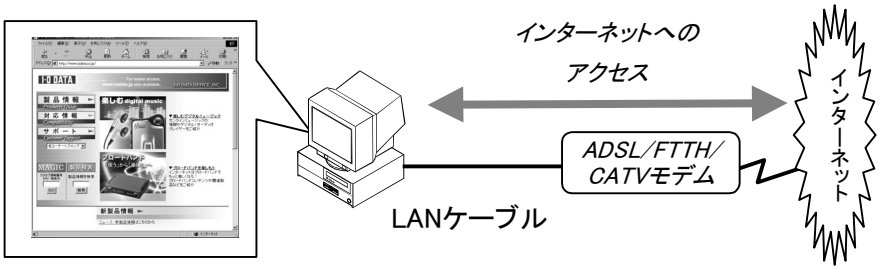
1．つなぐ前に確認する

本製品を接続する前に、インターネットに接続できることと、設定用パソコンのIPアドレスを確認します。

インターネットに接続できることを確認する

1 パソコンとADSL/FTTH/CATVモデムを直接つないで、インターネットに接続できることを確認してください。

パソコンの設定は、プロバイダから入手した資料にしたがって設定してください。



ここではまだ本製品を接続しないでください。
下記の作業もモデムとパソコンを直接つないで行ってください。
本製品との接続は、下記の作業の後に行います。

設定用パソコンのIPアドレスを確認する

次に、設定用パソコンのIPアドレスを確認します。お使いのOSによって確認方法が異なりますので、以下の必要なページのみご覧ください。

- *Windows XP/2000/NT 4.0の場合*→ 次ページを参照してください。
- *Windows Me/98/95の場合* → 22ページを参照してください。
- *Mac OSの場合* → 24ページを参照してください。

●Windows XP/2000/NT 4.0でのIPアドレスの確認

1 ［コマンドプロンプト］を起動します。

・*Windows XPの場合*

［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］をクリックします。

・*Windows 2000の場合*

［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］をクリックします。

・*Windows NT 4.0の場合*

［スタート］→［プログラム］→［コマンドプロンプト］をクリックします。

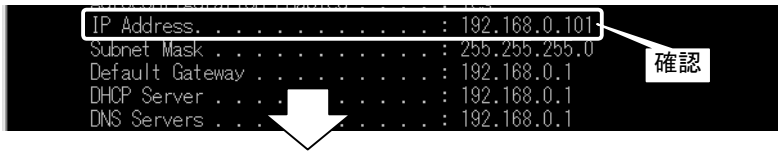
2 IPCONFIG –ALL　と入力し、［ENTER］キーを押します。

Windows NT 4.0の場合は、1画面に収まらないため、
IPCONFIG –ALL | MORE　と入力してください。



3 以下のような画面が表示されますので、IPアドレスを確認します。

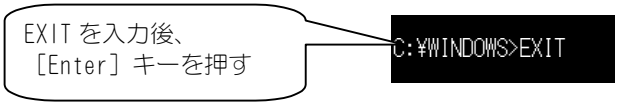
▼Windows XPでの画面例



▼確認したIPアドレスを記入してください。

IP アドレス	. . .

4 EXIT　と入力後、[Enter]キーを押して画面を閉じます。

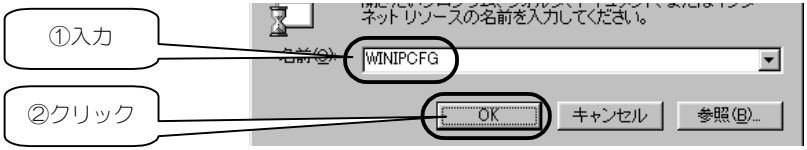


この後、【2. 本製品を設置する】(25 ページ)にお進みください。

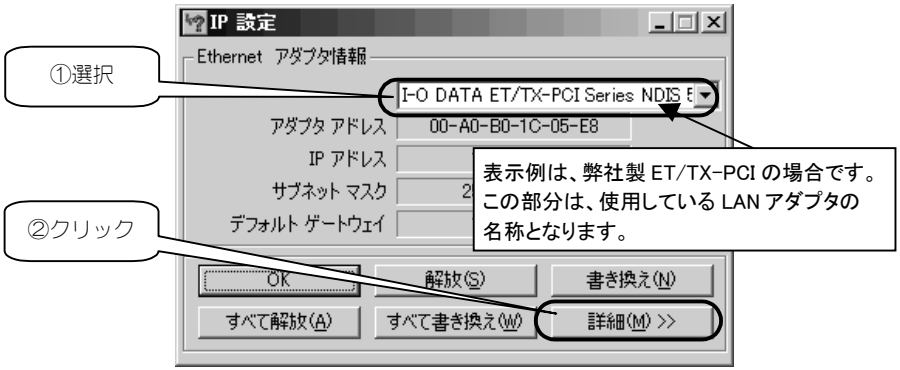
●Windows Me/98/95でのIPアドレスの確認

1 ［スタート］→［ファイル名を指定して実行］をクリックします。

2 ［名前］に WINIPCFG と入力し、［OK］ボタンをクリックします。

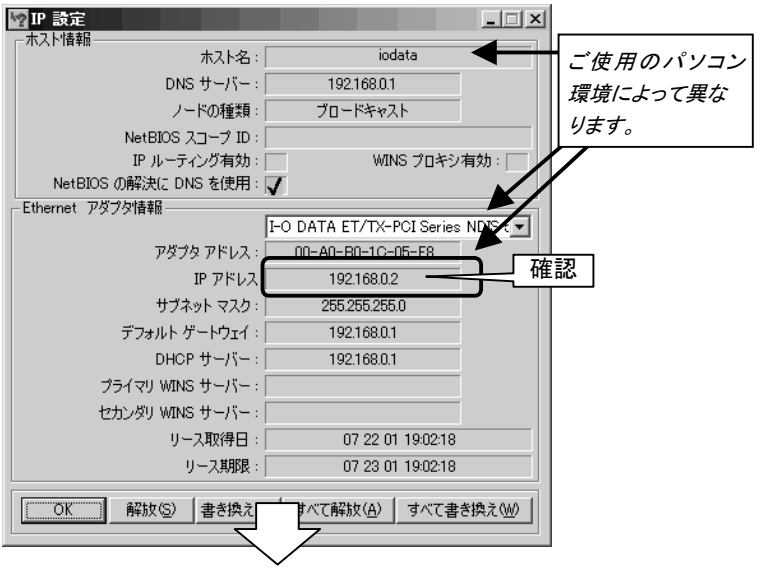


3 お使いのLANアダプタを選択し、［詳細］ボタンをクリックします。



4 以下のような画面が表示されますので、IPアドレスを確認します。

（WINIPCFGの画面例）



▼確認したIPアドレスを記入してください。

IP アドレス	. . .

5 ［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。

この後、【2. 本製品を設置する】(25ページ)にお進みください。

●Mac OS（Classic）でのIPアドレスの確認

1 ［アップルメニュー］→［コントロールパネル］内の［TCP/IP］をクリックします。

2 ［経由先：］でお使いのLANアダプタを選択します。

3 表示された［IPアドレス］を確認してください。

▼確認したIPアドレスを記入してください。

IP アドレス	. . .

この後、【2. 本製品を設置する】(次ページ)にお進みください。

●Mac OS Xでの IPアドレスの確認

1 ［アップルメニュー］→［場所］→［ネットワーク環境設定］をクリックします。

2 ［表示：］でお使いのLANアダプタを選択します。

3 表示された［IPアドレス］を確認してください。

▼確認したIPアドレスを記入してください。

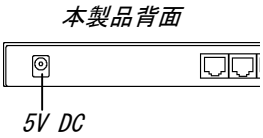
IP アドレス	. . .

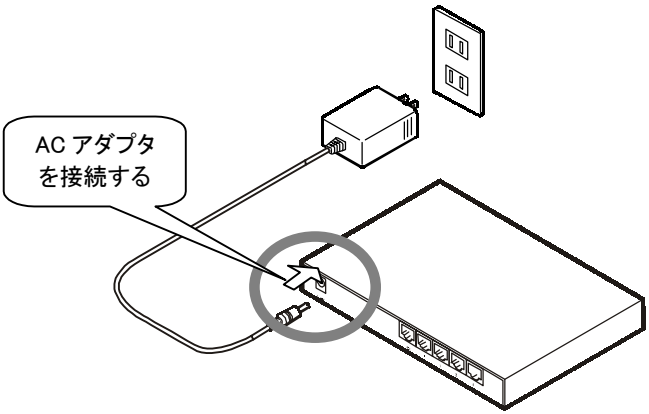
この後、【2. 本製品を設置する】(次ページ)にお進みください。

2. 本製品を設置する

本製品の電源を入れ、設置します。

[5V DC]コネクタに、本製品に添付のACアダプタを接続し、電源コンセントに接続します。





注意！

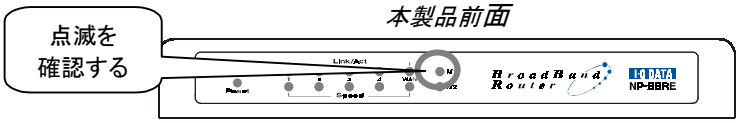
AC アダプタは必ず添付のものをご使用ください。

3．設定用パソコンをつなぐ

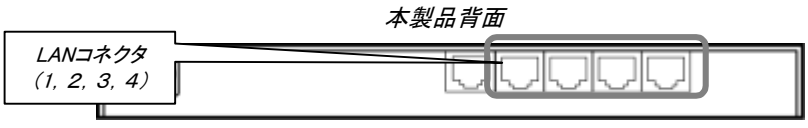
ここでは、本製品と設定用パソコンの接続手順について説明します。

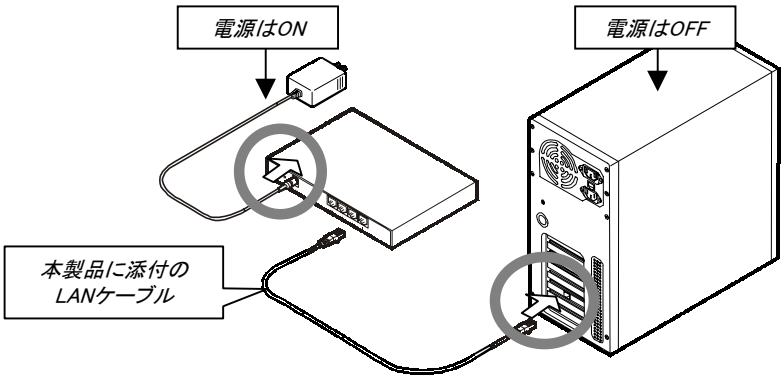
1 パソコンの電源が切れていることを確認します。

2 本製品の［M1］ランプが点滅していることを確認します。



3 添付のLANケーブルで本製品のLANコネクタ（１、２、３、４のいずれか）とパソコンを接続します。





参考

ストレート/クロスタイプを自動識別します。（Auto MDI/MDI-X 機能）
よって、使用ケーブルがストレート/クロスのいずれであっても、問題なく使用できます。

設定準備をする

ここでは、本製品を設定する設定用パソコンの設定について説明します。
以下の流れにしたがって、設定用パソコンを設定してください。



1 *IPアドレスを設定する*・・・・・・・・・・・・・・28ページ
設定用パソコンのIPアドレスを設定します。

▼



2 *IPアドレスを確認する*・・・・・・・・・・・・・・39ページ
設定したIPアドレスを確認します。

▼



3 *Webブラウザを設定する*・・・・・・・・・・・・43ページ
設定はWebブラウザを使用して行いますので、
Webブラウザの接続設定をします。

▼

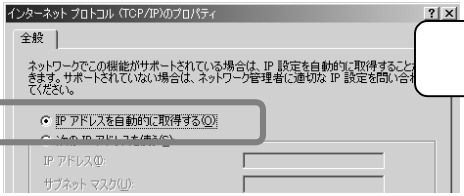


4 *メニュー画面を起動する*・・・・・・・・・・・・50ページ
本製品を設定するためのメニュー画面を起動
します。

1．IPアドレスを設定する

本製品を使用するには、設定用パソコンのIPアドレスを、自動的に取得する設定（[IPアドレスを自動的に取得]、[DHCPサーバーから取得] など）にする必要があります。

IP アドレス設定例）
［IP アドレスを自動的に取得する］



Windows 2000 での
IP アドレス設定画面例

※設定の詳細は
次ページ以降参照



参考

本製品を使用するには、設定用パソコンを含め接続するすべてのパソコンの IP アドレスを設定する必要があります。
本製品購入時には、本製品が[DHCP サーバー]という IP アドレスをパソコンに“自動的に割り振る”設定となっていますので、パソコン側では、「IP アドレスを自動的に取得する」設定（[IP アドレスを自動的に取得]、[DHCP サーバーから取得]など）にしておけば、パソコン起動時に、自動的に本製品から IP アドレスを取得できるようになります。

設定用パソコンのIPアドレスを設定します。
設定はご使用のOSによって異なります。以下の該当するページへお進みください。

- *Windows XPをお使いの場合* → 次ページを参照してください。
- *Windows 2000をお使いの場合* → 31ページを参照してください。
- *Windows Me/98/95をお使いの場合* → 33ページを参照してください。
- *Windows NT 4.0をお使いの場合* → 35ページを参照してください。
- *Mac OS（Classic）をお使いの場合* → 37ページを参照してください。
- *Mac OS Xをお使いの場合* → 38ページを参照してください。

Windows XP

1 コンピュータの管理者のアカウントでログオンします。

2 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。

3 [ネットワークとインターネット接続]をクリックします。

参考

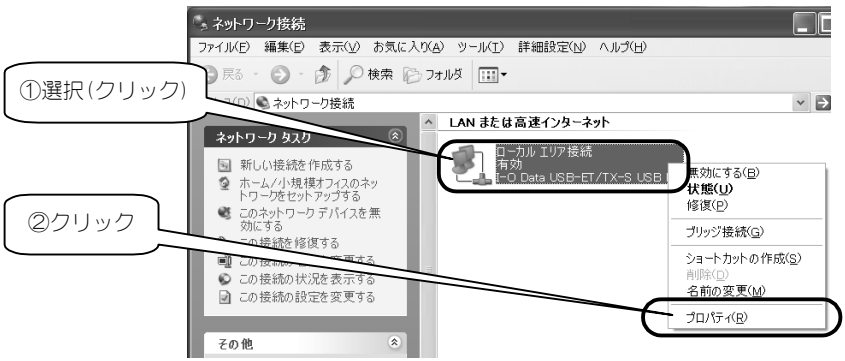
コントロールパネルの表示方法が、[クラシック表示]の場合は、[ネットワーク接続]アイコンをダブルクリックして手順*5*へお進みください。



4 [ネットワーク接続]をクリックします。

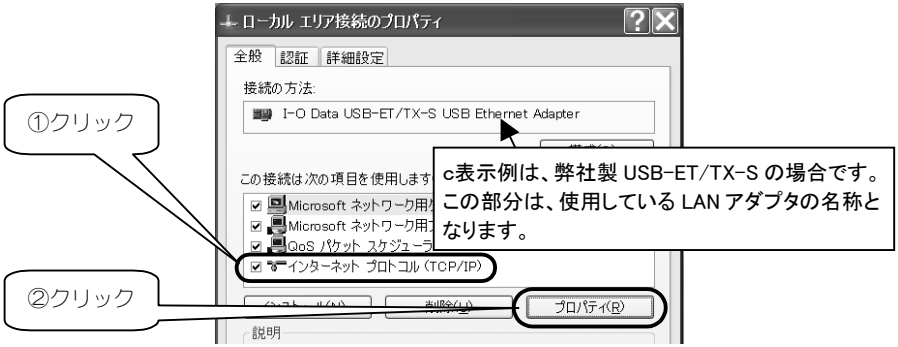


5 ［ローカルエリア接続］（無線LANの場合は、[ワイヤレスネットワーク接続]）を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。



Windows XP（つづき）

6 ［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をクリックし、［プロパティ］ボタンをクリックします。



7 ［IPアドレスを自動的に取得する］と［DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する］にチェックして、［OK］ボタンをクリックします。



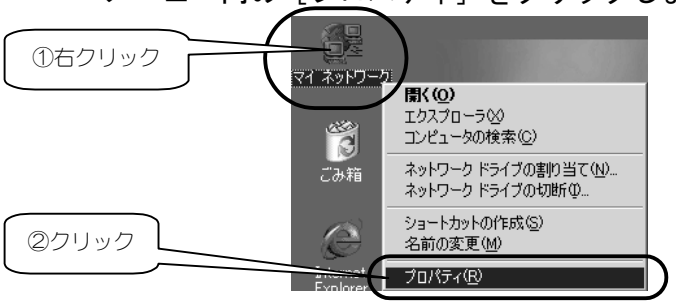
8 すべての画面を閉じて、パソコンを再起動します。

この後、【3．IP アドレスを確認する】(39 ページ)へお進みください。

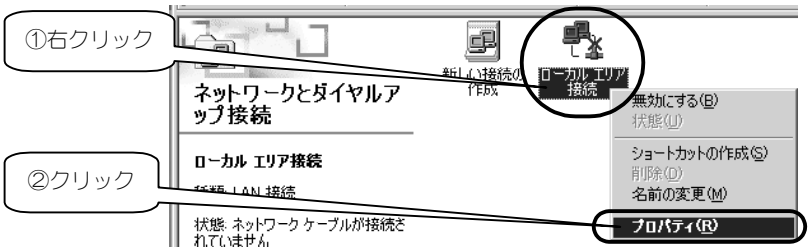
Windows 2000

1 Administrator権限でWindows 2000にログオンします。

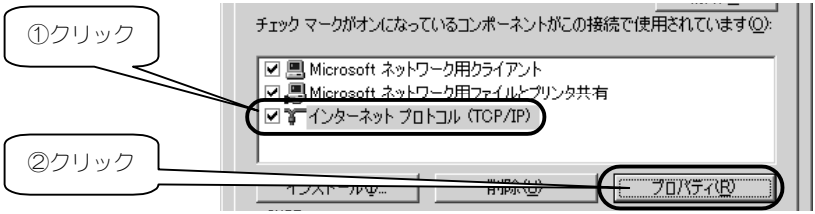
2 ［マイ ネットワーク］を右クリックし、
メニュー内の［プロパティ］をクリックします。



3 ［ローカルエリア接続］を右クリックし、メニュー内の
［プロパティ］をクリックします。

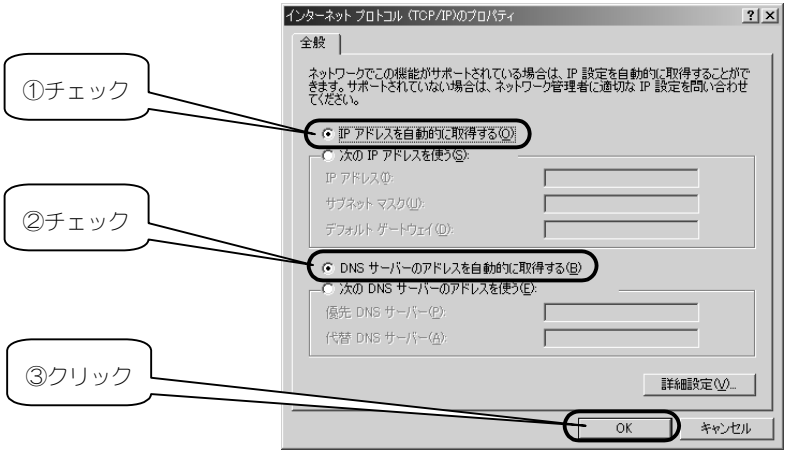


4 ［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をクリックし、
［プロパティ］ボタンをクリックします。



Windows 2000（つづき）

5 ［IPアドレスを自動的に取得する］と［DNSサーバのアドレスを自動的に取得する］にチェックして、［OK］ボタンをクリックします。

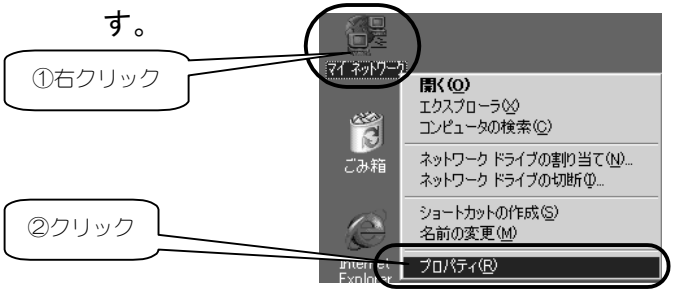


6 すべての画面を閉じて、パソコンを再起動します。

この後、【3．IP アドレスを確認する】(39 ページ)へお進みください。

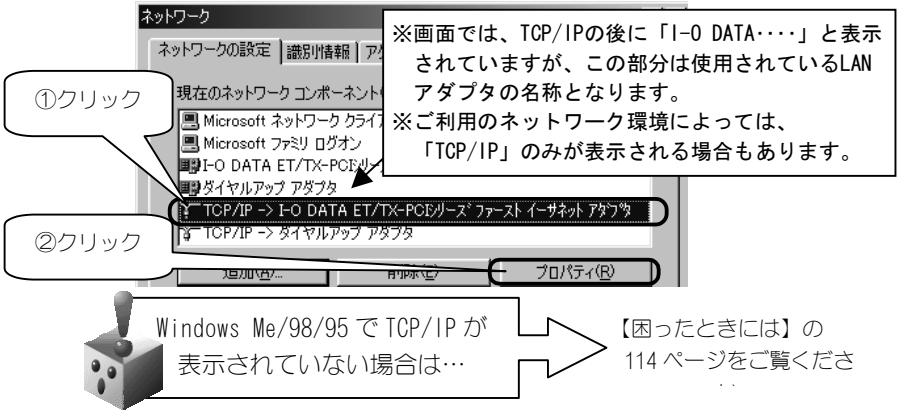
Windows Me/98/95

1 ［マイネットワーク］（または[ネットワークコンピュータ]）を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。



2 ［TCP/IP］（あるいは［TCP/IP -> xxxxxxx］）をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。

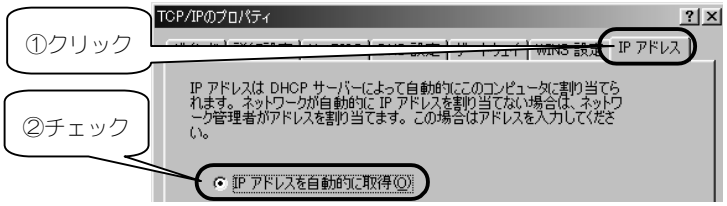
※アダプタが複数ある場合に、[TCP/IP->xxxxxxxx]と表示されます。



Windows Me/98/95 で TCP/IP が表示されていない場合は…

【困ったときには】の 114 ページをご覧くださ

3 ［IPアドレス］タブをクリックして、［IPアドレスを自動的に取得］をチェックします。

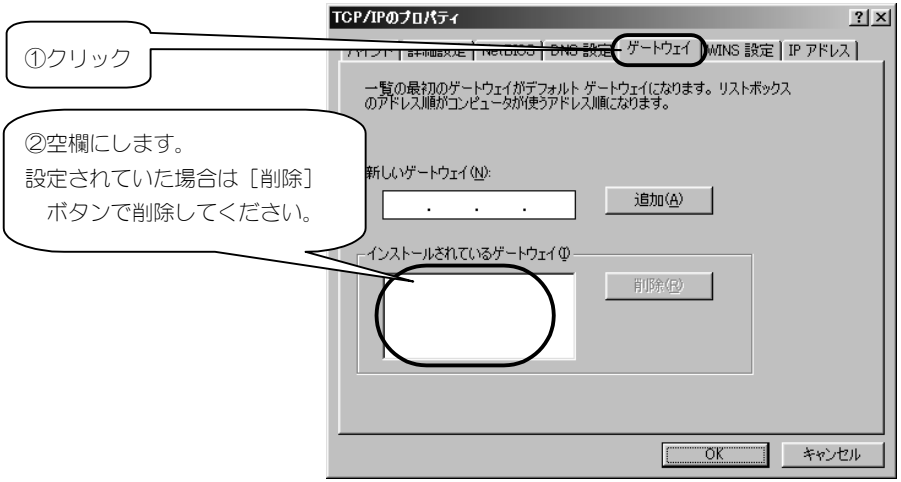


Windows Me/98/95（つづき）

4 ［DNS設定］タブをクリック後、［DNSを使わない］をチェックします。



5 ［ゲートウェイ］タブをクリック後、すでに設定されているゲートウェイがある場合は、［削除］ボタンで設定を削除してください。



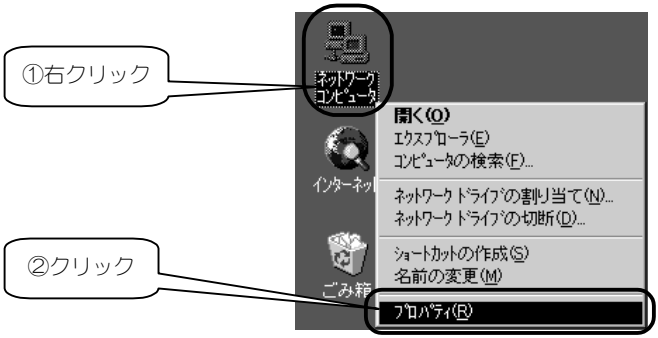
6 ［OK］ボタンをクリック後、パソコンを再起動します。

この後、【3．IP アドレスを確認する】(39 ページ)へお進みください。

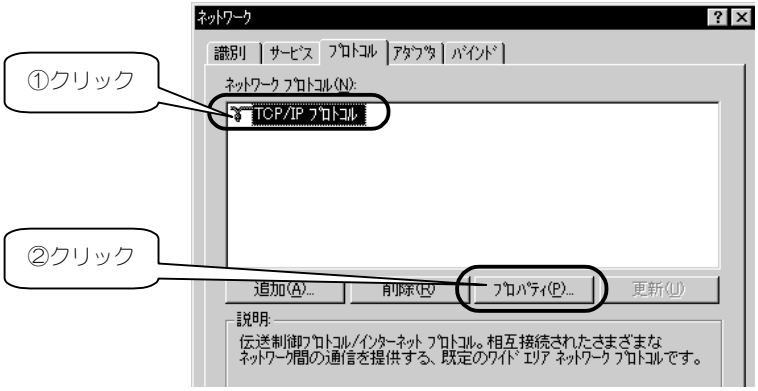
Windows NT 4.0

1 Administrator権限でWindows NT 4.0にログオンします。

2 ［ネットワークコンピュータ］を右クリックし、
メニュー内の［プロパティ］をクリックします。

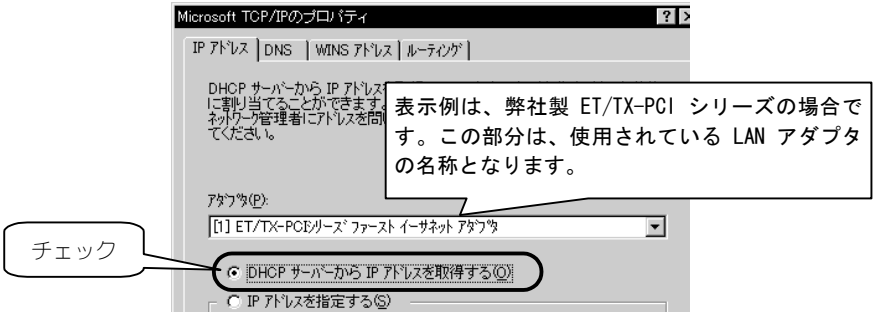


3 ［TCP/IP プロトコル］をクリックし、
［プロパティ］ボタンをクリックします。

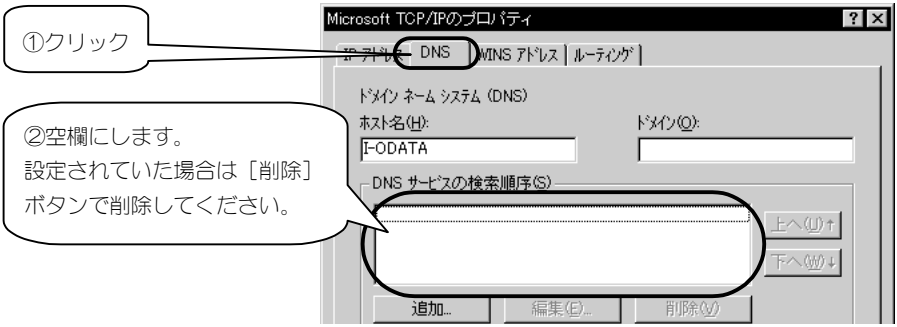


Windows NT 4.0（つづき）

4 ［IPアドレス］タブで［DHCPサーバーからIPアドレスを取得する］をチェックします。



5 ［DNS］タブをクリック後、すでに設定されているDNSサービスがある場合は、［削除］ボタンで削除してください。



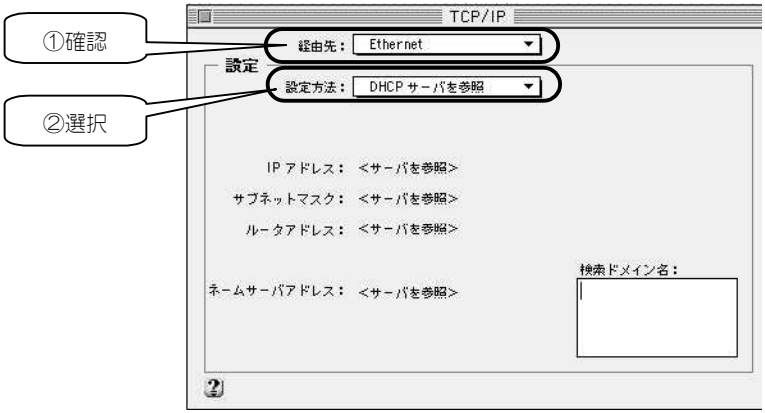
6 ［OK］ボタンをクリック後、パソコンを再起動します。

この後、【3．IP アドレスを確認する】(39 ページ)をご覧ください。

Mac OS (Classic)

1 ［アップルメニュー］→［コントロールパネル］内の［TCP/IP］をクリックします。

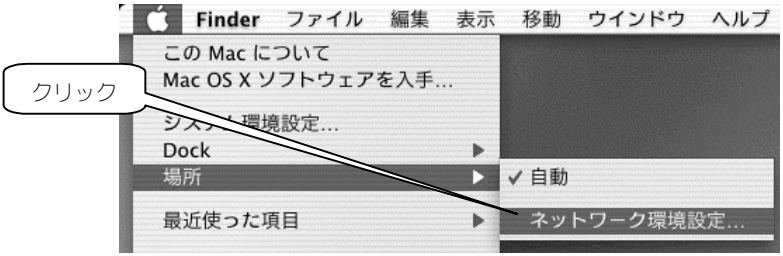
2 使用しているLANインターフェイスであることを確認して、［DHCPサーバを参照］を選択し、画面を閉じます。



この後、【２．IP アドレスを確認する】を読み飛ばし、
【３．Web ブラウザを設定する】(43 ページ) をご覧ください。

Mac OS X

1 [場所]→[ネットワーク環境設定]をクリックしします。



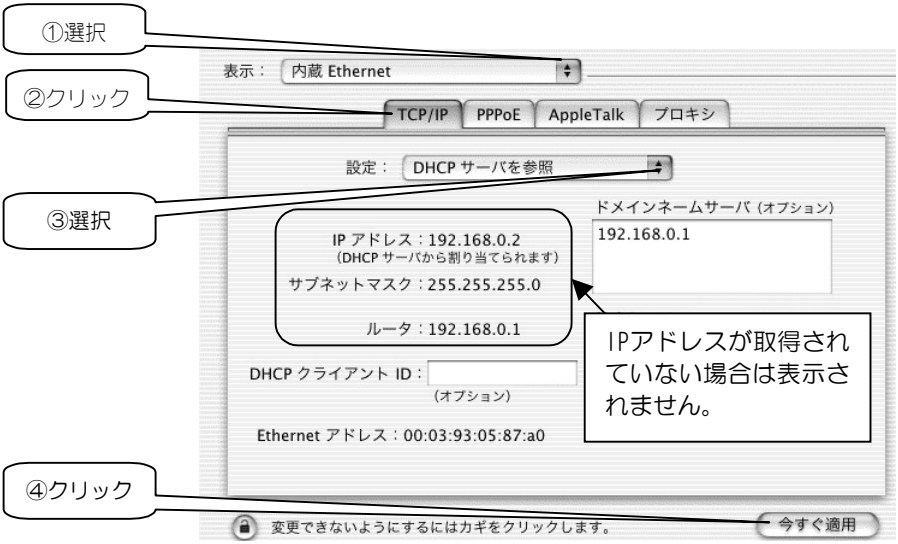
2 ネットワーク環境設定をします。

①[表示]で、ご使用のLANアダプタ（内蔵EthernetやAirMacなど）を選びます。

②[TCP/IP]をクリックします。

③[設定]で[DHCPサーバを参照]を選びます。

④[今すぐ適用]をクリックします。



この後、【２．IP アドレスを確認する】を読み飛ばし、
【３．Web ブラウザを設定する】（43 ページ）をご覧ください。

2. IPアドレスを確認する

ここでは、【2. IP アドレスを設定する】で自動的に取得する設定にした IP アドレスが、正常に取得できているかを確認します。

・ *Windows XP/2000/NT 4.0の場合*	→ 以下を参照してください。
・ *Windows Me/98/95の場合*	→ 41ページを参照してください。

Windows XP/2000/NT 4.0

1 ［コマンドプロンプト］を起動します。

・*Windows XPの場合*

［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］をクリックします。

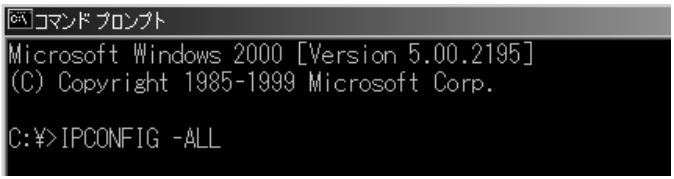
・*Windows 2000の場合*

［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］をクリックします。

・*Windows NT 4.0の場合*

［スタート］→［プログラム］→［コマンドプロンプト］をクリックします。

2 IPCONFIG –ALL
と入力し、［ENTER］キーを押します。
（Windows NT 4.0の場合は、1画面に収まらないため、
IPCONFIG –ALL | MORE と入力してください。）

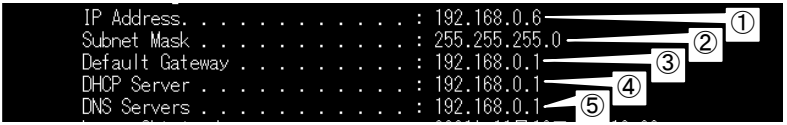


Windows XP/2000/NT 4.0（つづき）

3 以下および次ページのような画面が表示されます。
以下および次ページの画面で、それぞれ次の値（アドレス）となっていることを確認します。

①	IP Address	192.168.0.xxx　（xxx は2～32）
②	Subnet Mask	255.255.255.0
③	Default Gateway	192.168.0.1
④	DHCP Server	192.168.0.1
⑤	DNS Servers	192.168.0.1

（Windows XPでの画面例）



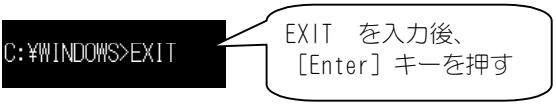
正常に［IP Address］が取得（表示）されていない場合は…

【困ったときには】の112 ページをご覧ください。

参考

上記はそれぞれ以下の内容です。
①[IP Address]…本製品から割り当てられたパソコンの IP アドレス値
②[Subnet Mask]…本製品から割り当てられたパソコンのサブネットマスク値
③[Defalt Gateway]…本製品から割り当てられたパソコンのデフォルトゲートウェイ値（本製品の IP アドレスです。）
④[DHCP Server]…本製品から割り当てられたパソコンの DHCP サーバ値（本製品の IP アドレスです。）
⑤[DNS Servers]…本製品から割り当てられたパソコンの DNS サーバ値（本製品の IP アドレスです。プロバイダへ接続後に IP アドレスを取得した場合は、プロバイダの DNS アドレスが割り当てられます。）

4 EXIT　と入力後、[Enter]キーを押して画面を閉じます。

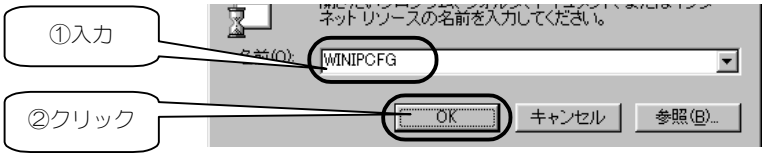


この後、【３．Web ブラウザを設定する】(43 ページ)へお進みください。

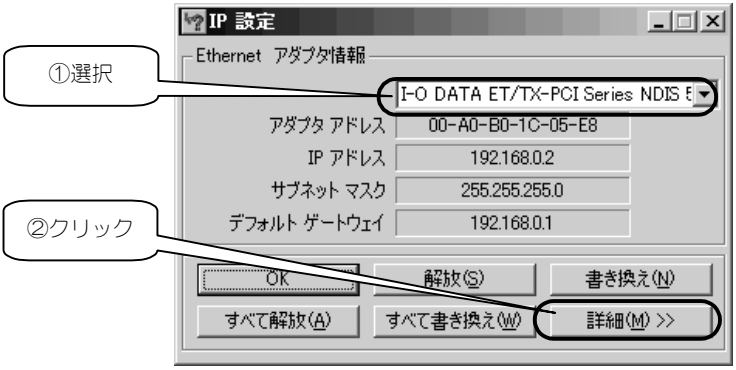
Windows Me/98/95

1 ［スタート］→［ファイル名を指定して実行］をクリックします。

2 ［名前］に WINIPCFG と入力し、［OK］ボタンをクリックします。



3 お使いのLANアダプタを選択し、［詳細］ボタンをクリックします。

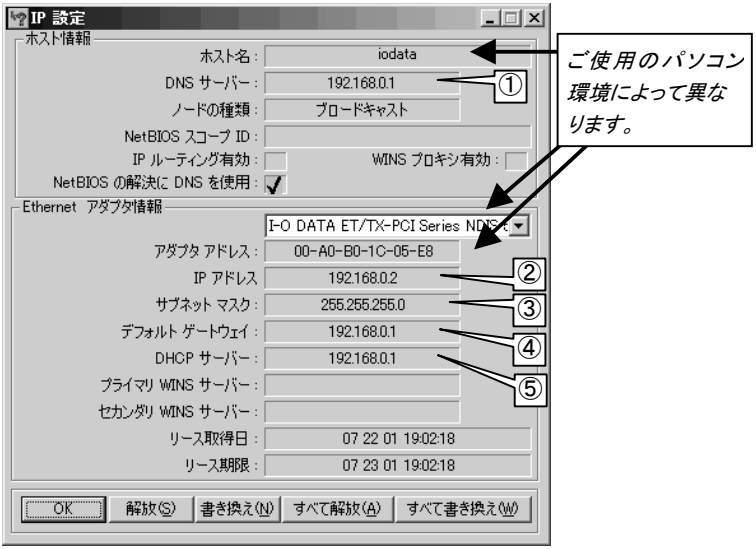


4 ［IP設定］画面では、それぞれ次の値（アドレス）となっていることを確認します。

①	DNSサーバー	192.168.0.1
②	IPアドレス	192.168.0.xxx　（xxx は2～32）
③	サブネットマスク	255.255.255.0
④	デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1
⑤	DHCPサーバー	192.168.0.1

Windows Me/98/95（つづき）

（WINIPCFGの画面例）



正常に IP アドレスが取得（表示）されていない場合は…

【困ったときには】の 112 ページをご参照ください。

参考

上記の①～⑤の値はすべて本製品から割り当てられた値（アドレス）です。
上記①、④、⑤は本製品の IP アドレスの値です。ただし、①の値は、プロバイダへ接続後に IP アドレスを取得した場合は、プロバイダの DNS アドレスが割り当てられます。

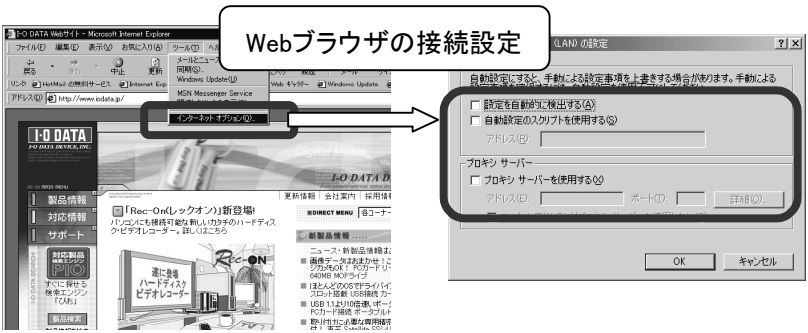
5 ［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。

この後、【3．Web ブラウザを設定する】(43 ページ)を参照して、Web ブラウザを設定してください。

3．Webブラウザを設定する

本製品の設定や本製品経由でインターネットに接続するには、Web ブラウザ（Internet Explorer）の接続設定をしておく必要があります。
下記２点に注意し設定してください。

①LANを使用してインターネットに接続する。
②プロキシサーバーを設定する。



注意！

Web ブラウザは、【本製品を導入する上で必要なもの】の【設定時に必要なソフトウェア】（15 ページ）の項を参照して、必要なバージョンをご確認ください。
なお、本製品に Web ブラウザは添付しておりません。
Web ブラウザがない、あるいは Web ブラウザのバージョンが古い場合は、正常に設定できませんので、必ず必要なバージョン以降をご用意ください。

・ *Windowsをお使いの場合* → 次ページを参照してください。
・ *Mac OSをお使いの場合* → 48ページを参照してください。

Windows

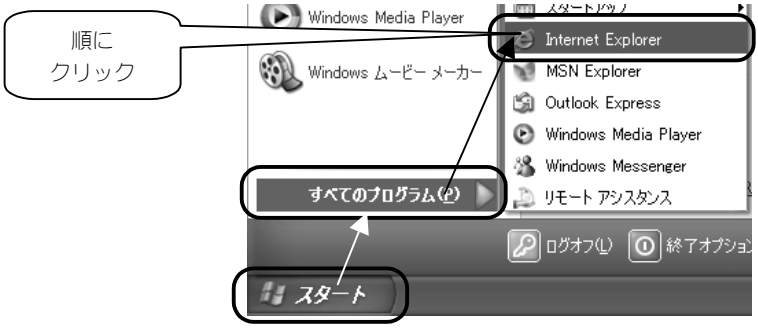
注意！

プロバイダによっては、プロキシについての設定を指示している場合があります。
まず、プロバイダから入手した資料をご用意ください。

1 [Internet Explorer] 画面を表示させます。

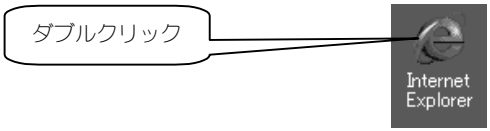
・*Windows XPの場合*

[スタート]→[すべてのプログラム]→[Internet Explorer]（または[インターネット Internet Explorer]）をクリックします。



・*Windows 2000、Windows Me/98/95、Windows NT 4.0の場合*

デスクトップ画面上の[Internet Explorer]アイコンをダブルクリックします。



注意！

この時点でインターネットに接続されていない場合は、「ページを表示できません」など正常に画面が表示されませんが、ここでは Internet Explorer 自体の設定を行うため、この時点で正常に画面が表示されていなくても問題ありません。

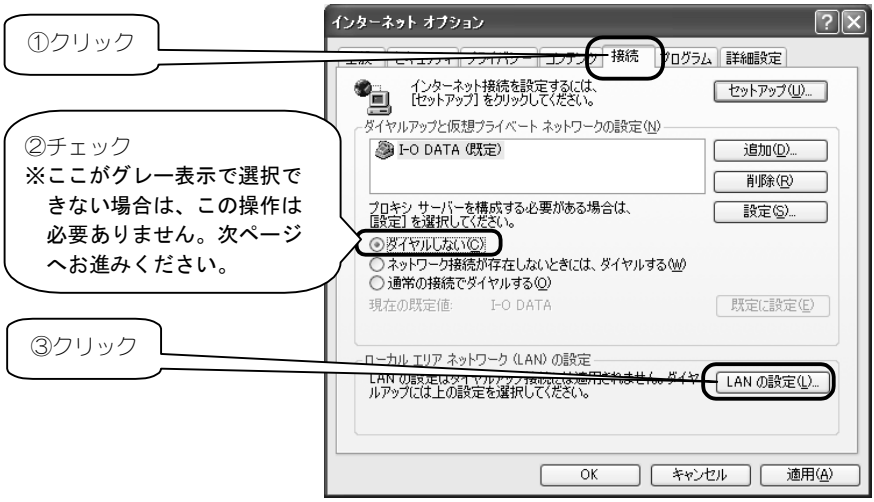
Windows（つづき）

2 ［Internet Explorer］画面の［ツール］メニューの［インターネット オプション］をクリックします。

※本手順以降、画面は[Internet Explorer 6.0]を例にしています。



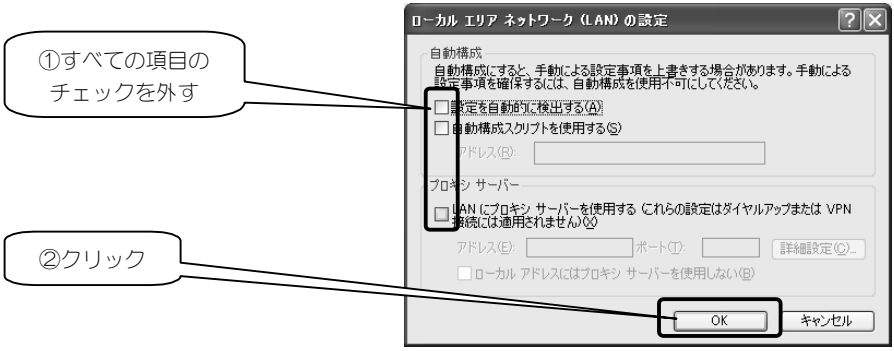
3 ［接続］タブをクリックし、［ダイヤルしない］をチェックします。続けて、［LANの設定］ボタンをクリックします。



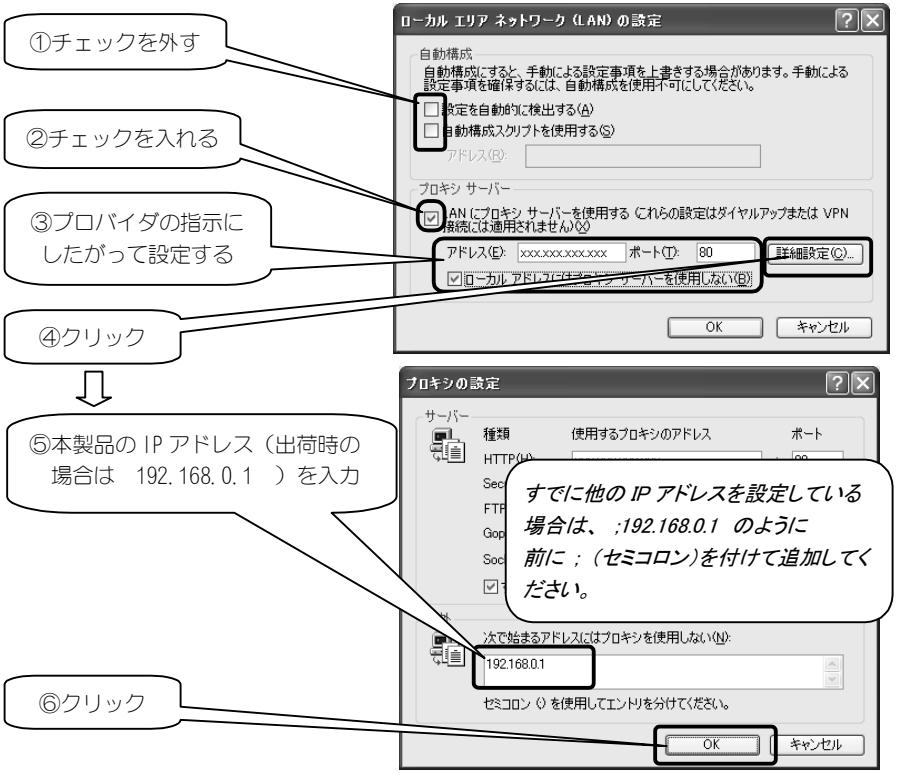
4 プロバイダからの資料で、［プロキシ］に関する設定の指示がないか確認し、次ページの設定を行います。

Windows（つづき）

・プロバイダから[プロキシ]に関する設定の指示がない場合



・プロバイダから[プロキシ]に関する設定の指示がある場合



Windows（つづき）

5 ［ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定］画面で［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じてください。

6 ［インターネットオプション］（または［インターネットのオプション］）画面へ戻りますので、［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じてください。

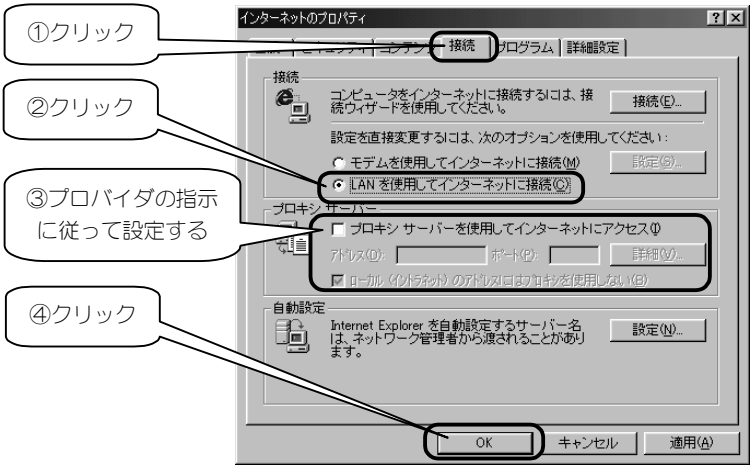
設定後、【4．メニュー画面を起動する】(50 ページ)へお進みください。

参考

Internet Explorer のバージョンによっては、*3* の手順の時に以下の画面となる場合があります。この場合は、［接続］タブで［LAN を使用してインターネットに接続］をチェックします。その後、以下の手順を行います。

・プロバイダからプロキシに関する設定の指示がない場合
［プロキシサーバーを使用してインターネットにアクセス］のチェックを外し、［OK］ボタンをクリックします。

・プロバイダからプロキシに関する設定の指示がある場合
［プロキシサーバーを使用してインターネットにアクセス］をチェックし、［アドレス］と［ポート］を入力後、［詳細］ボタンをクリックします。
［プロキシの設定］画面での設定は、前ページを参照してください。
設定後、［OK］ボタンをクリックします。



Mac OS

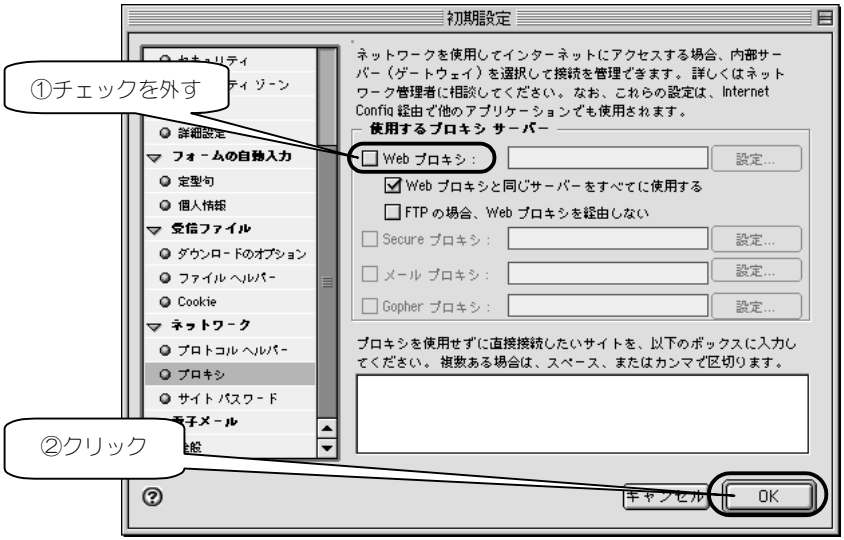
1 Internet Explorerを起動します。

2 ［編集］→［初期設定...］を選択します。

3 ［▼ネットワーク］の［プロキシ］を選択します。

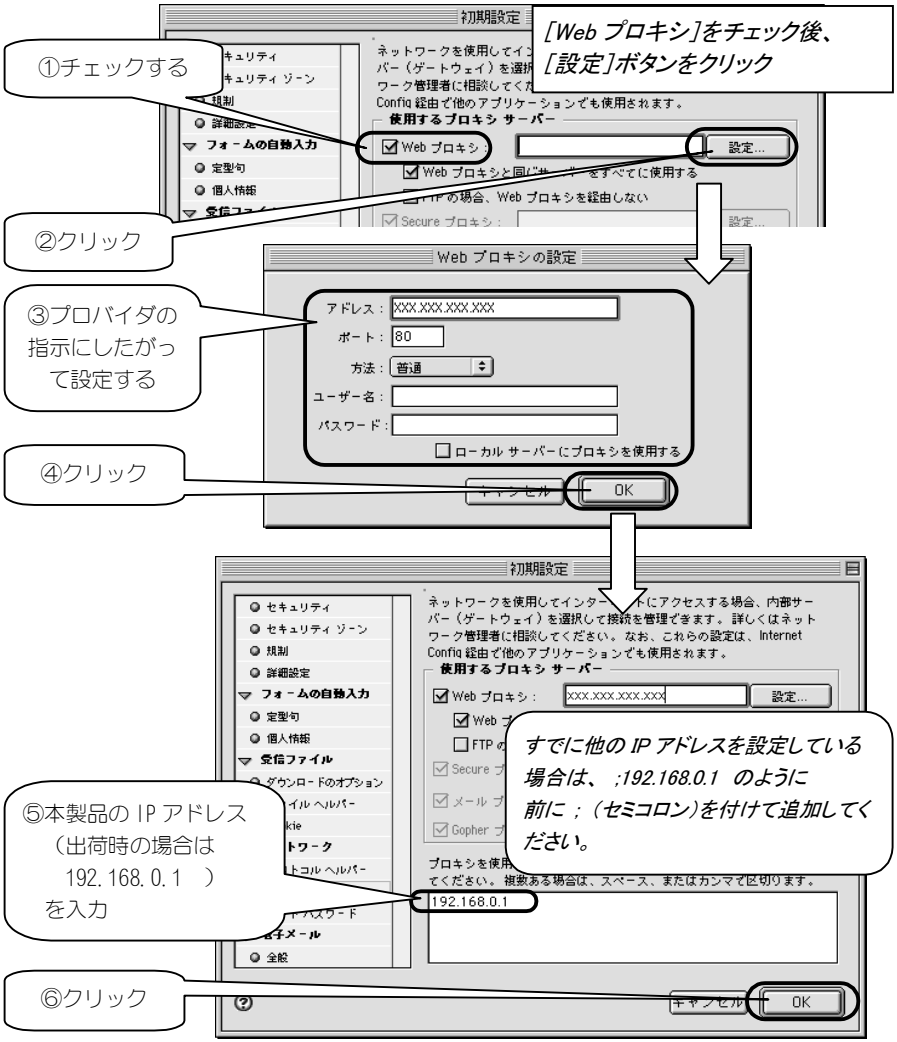
4 プロバイダからの資料を参照し、［プロキシ］に関する設定の指示がないか確認し、以下の設定を行います。

●プロバイダから［プロキシ］に関する設定の指示がない場合



Mac OS（つづき）

●プロバイダから［プロキシ］に関する設定の指示がある場合



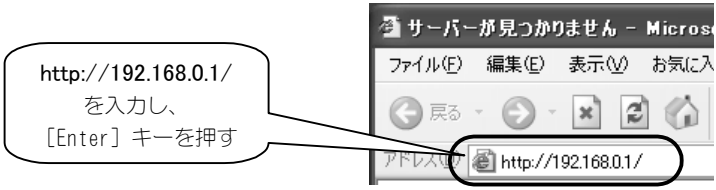
設定後、【4．メニュー画面を起動する】(50 ページ)へお進みください。

4. メニュー画面を起動する

本製品を設定するためのメニュー画面を起動します。

さらに、事前に確認したIPアドレスの値によって設定が必要になります。

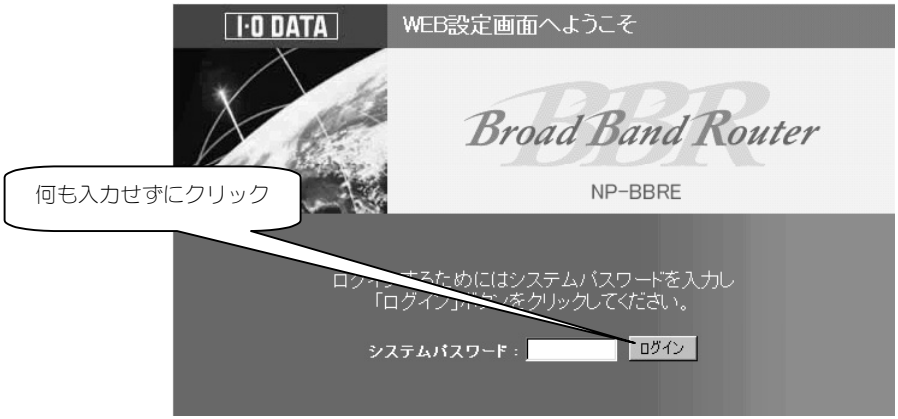
1 Webブラウザを起動して以下を開きます。
「http://192.168.0.1/」



注意！

- **Web ブラウザは、【本製品を導入する上で必要なもの】の【設定時に必要なソフトウェア】(20 ページ)の項を参照して、必要なバージョンをご確認ください。**
  なお、本製品に Web ブラウザは添付しておりません。
  Web ブラウザがない、あるいは Web ブラウザのバージョンが古い場合は、正常に設定できませんので、必要なバージョン以降をご用意ください。
- **上記 IP アドレスは、本製品内部にある設定画面を呼び出す IP アドレスです。**
  パソコンに LAN ケーブルで本製品が接続されていれば(インターネットに接続されていなくても)呼び出すことができます。

2 以下の画面が表示されますので、何も入力せずに［ログイン］ボタンをクリックします。



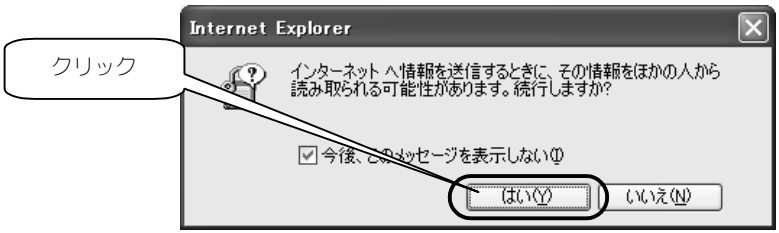
参考

パスワードは管理者以外が設定できないようにしたり、誤って設定したりすることを防ぐためのものです。出荷時のパスワードは［空白］ですが、後で変更することをおすすめします。変更方法の詳細は、92 ページを参照してください。

上記の画面が
表示されない場合は…

【困ったときには】の
111 ページを
ご参照ください。

3 以下の画面が表示された場合は、内容を確認後、［はい］ボタンをクリックします。



4 設定画面が表示されますので、[詳細設定]をクリックします。



参考

[簡単設定ウィザード]を使用すると、簡単にインターネットの接続できます。詳しくは、別冊のクイックガイドをご覧ください。

5 接続前に確認したIPアドレスによって、LAN側のIPアドレスを変更します。

【1.つなぐ前に確認する】内で記入したIPアドレスをご確認ください。

Windows XP/2000/NT 4.0の場合→21ページ
Windows Me/98/95の場合→23ページ
Mac OSの場合→24ページ

分岐

確認したIPアドレスが…

・**192.168.0.xxx<u>以外</u> の場合** **（xxxは1～254の数）**
→ 【インターネットに接続する】（55ページ）へお進みください。

・**192.168.0.xxx の場合** **（xxxは1～254の数）**
→ 下記へお進みください。

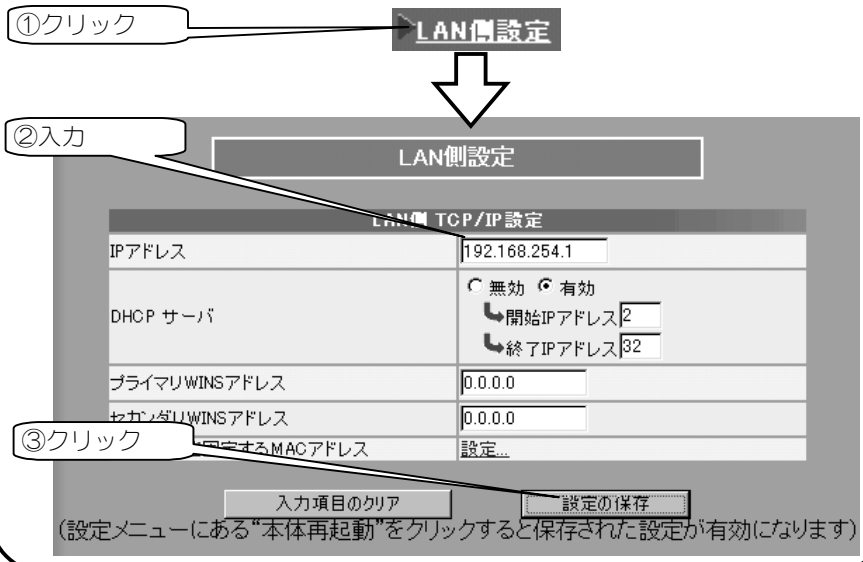
192.168.0.xxx の場合は、以下の手順で本製品LAN側のIPアドレスを変更してください。

①[LAN側設定]をクリックします。

②IPアドレス欄に **192.168.254.1** と入力します。

③[設定の保存]をクリックします。

以上で本製品LAN側のIPアドレスが変更されました。



6 パソコンを再起動します。

7 【2．IPアドレスを確認する】（39ページ）へ戻り、IPアドレスが以下のように取得されていることを確認します。

IPアドレスの値が、**192.168.254.xxx**（xxxは2～32）になっていることをご確認ください。

⇒IPアドレスが、192.168.0.xxxのままの場合は、IPアドレスを再取得してみてください。



参考

IPアドレスの再取得方法

- **Windows XP/2000/NT 4.0の場合**
  21ページのコマンドプロンプト上で、ipconfig –renew を実行します。
- **Windows Me/98/95の場合**
  22 ページの IP 設定画面で、[すべて書き換え]ボタンをクリックします。

8 プロバイダからプロキシに関する設定の指示がある場合

【3．Webブラウザを設定する】（43ページ）へ戻り、プロキシ設定で、**192.168.0.1** と設定した個所を、**192.168.254.1** に変更してください。

この後本書内で、**192.168.0.1** と表記されているところは、**192.168.254.1** と読み替えてください。

【インターネットに接続する】（55ページ）へお進みください。

インターネットに接続する

本製品を使用して、インターネットに接続します。

接続回線を確認する

インターネットに接続する際の回線を確認します。
接続する回線によって、設定方法が異なります。

56ページ

PPPoEで使用する
～ADSLやFTTHなど～

ADSL/FTTHで使用する場合や、CATVでもPPPoE認証を行う場合の設定です。ただし、PPPoE認証を行わない場合とルータタイプのモデムをご使用の場合は【PPPoE以外で使用する】をご覧ください。

58ページ

PPPoE以外で使用する
～CATVや一部のADSLなど～

CATVで使用する場合や、ADSL/FTTHでもPPPoE認証を行わない場合とルータタイプのモデムをご使用の場合の設定です。

67ページ

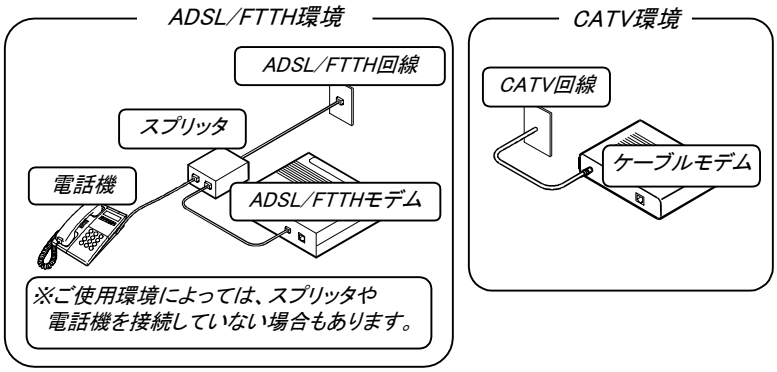
接続回線を確認する

ここでは、接続形態を確認します。
接続する回線により手順が異なりますので、インターネット接続を行うための接続回線を選択し、必要なページのみをご覧ください。

ADSL/FTTH/CATV接続時に必要なもの

本製品をインターネットに接続する際には、以下をご用意ください。

・ADSL、FTTH、CATV環境（既に回線に接続済みの環境）

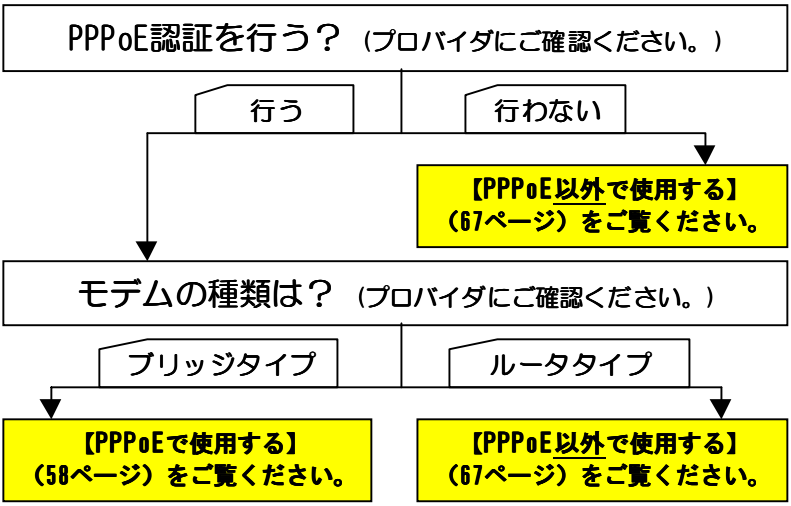


・*本製品*
・*専用ACアダプタ*　本製品添付品
・*LANケーブル*　ADSL、FTTH、CATVモデムと本製品との接続用
・*LANケーブル*　パソコンとの接続用（添付品）
・*LANアダプタ*　弊社製「ET100-PCI-S2」など
・*設定用パソコン*

接続回線を確認する

●お使いの接続回線は？

以下をご覧になり接続回線が分かったら、それぞれのページを参照し設定を行ってください。



参考

●PPPoE認証について

- **主なPPPoE認証を行うキャリアプロバイダ …** Bフレッツ、フレッツADSL（NTT東日本、西日本）、東京めたりっく通信、名古屋めたりっく通信
- **主なPPPoE認証を行わないキャリアプロバイダ …** アッカネットワークス、eAccess、KDDI(DIONなど)、Yahoo!BBなど

●モデムの種類について

- **ブリッジタイプ … 同時に接続可能なパソコンの台数は1台です。**
  お使いのパソコンにグローバルIPアドレスを自動的に割り当てます。
  （プロバイダによってはUSBタイプと呼ぶ場合があります。）
- **ルータタイプ … 複数のパソコンを接続することができます。**
  モデムにグローバルIPアドレスを1つ自動的に割り当てます。
  パソコン側にはモデムのDHCP機能により、プライベートIPアドレスを割り振ることが可能です。

PPPoEで使用する
～ASDLやFTTHなど～

ADSL/FTTH で使用する場合や、CATV でも PPPoE 認証を行う場合の設定です。

注意！

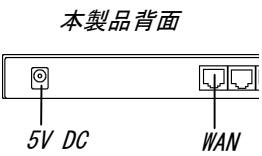
- **PPPoE認証を行わないADSLでご利用になる場合**
  接続先がADSL/FTTHであっても、【PPPoE以外で使用する】(67ページ)へお進みください。
- **ルータタイプのADSLモデムでご利用になる場合**
  接続先がADSLであっても【PPPoE以外で使用する】(67ページ)へお進みください。

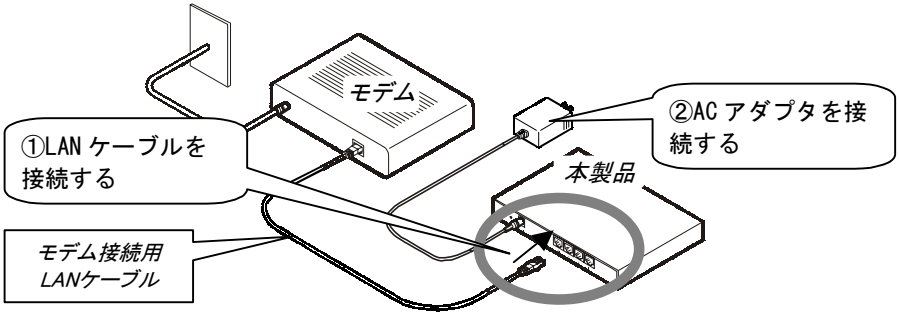
本製品をモデムに接続する

1 モデムの電源が入っていることを確認します。

2 本製品のACアダプタをいったん外します。

3 本製品の［WAN］コネクタにモデムのLANケーブルを接続し、本製品のACアダプタを接続します。



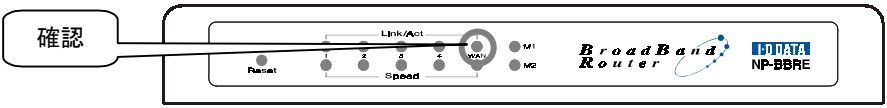


注意！

・LAN ケーブルを接続してから AC アダプタを接続してください。
AC アダプタを接続した後に LAN ケーブルを接続すると、本製品を正しく使用できません。
・モデムの電源が入っている状態で接続してください。
電源が入っていないと、本製品を正しく使用できません。
・モデムとの接続は、必ず[WAN]コネクタで接続してください。
他のコネクタに接続すると、本製品を正しく使用できません。

4 接続後しばらくして、本製品の［WAN］側[LINK]ランプが点滅することを確認してください。

本製品前面





［M1］ランプが
点滅しない場合は…

LAN ケーブルや AC アダプタの接続を再度ご確認ください。

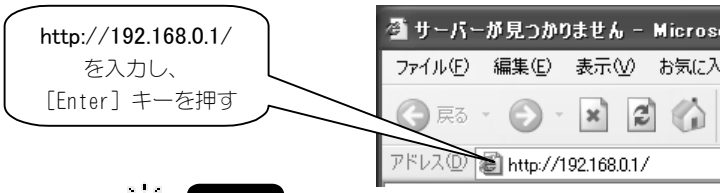
【メニュー画面を起動する】（次ページ）へお進みください。

メニュー画面を起動する

1 パソコンの電源を入れます。

2 Webブラウザを起動して以下を開きます。
「http://192.168.0.1/」

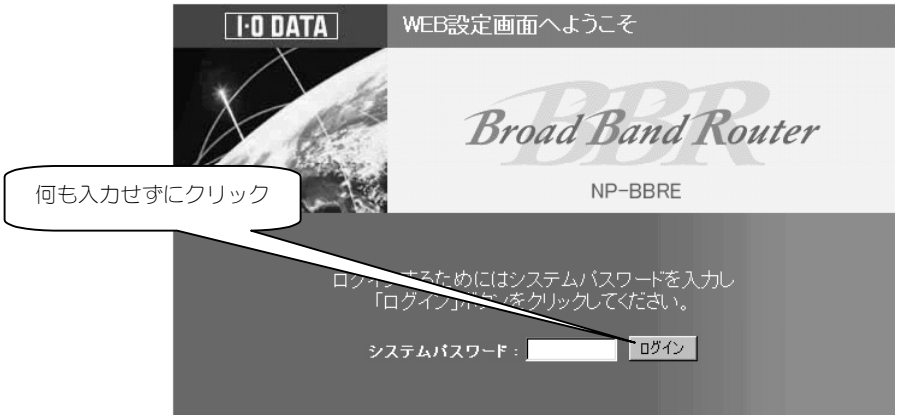
▼Internet Explorerでの例



注意！

【５．メニュー画面を起動する】（50 ページ）で本製品 LAN 側の IP アドレスを変更した場合は、「http://192.168.254.1/」と入力してください。

3 **以下の画面が表示されますので、何も入力せずに［ログイン］ボタンをクリックします。**



上記の画面が
表示されない場合は…

【困ったときには】の
111 ページを
ご参照ください。

4 以下の画面が表示された場合は、内容を確認後、［はい］ボタンをクリックします。



5 **設定画面が表示されますので、［詳細設定］をクリックします。**



【回線に接続する】（次ページ）へお進みください。

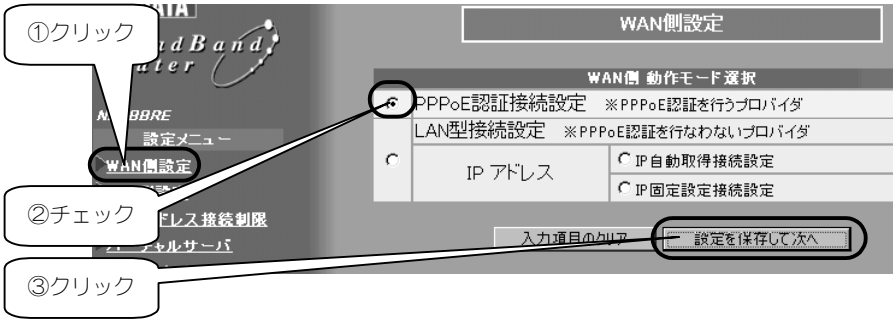
参考

［簡単設定ウィザード］を使用すると、簡単にインターネットの接続ができます。詳しくは、別冊のクイックガイドをご覧ください。

回線に接続する

1 ［PPPoE認証接続設定］をします。

①［設定メニュー］欄の［WAN側設定］をクリックします。
②［PPPoE認証接続設定］をチェックします。
③［設定を保存して次へ］をクリックします。

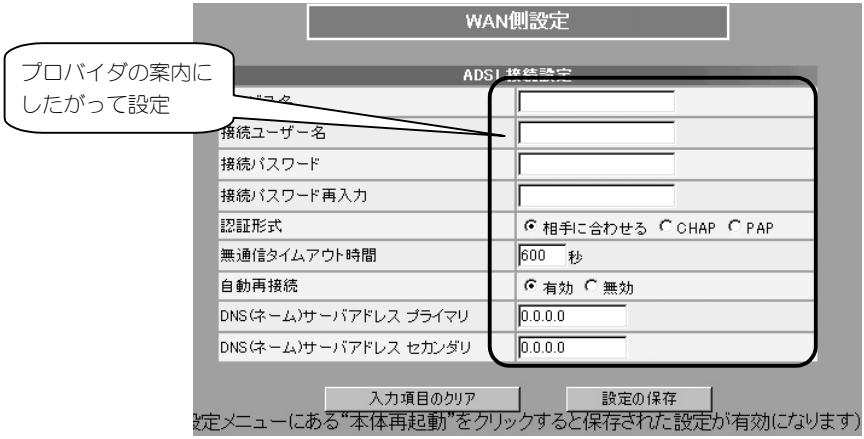


参考

WAN 側とは、ADSL/FTTH/CATV のプロバイダ側のことです。

2 プロバイダから案内されている資料をもとに、以下の設定をしてください。

特に指定がない個所は空欄（または初期値）のまま変更する必要はありません。



サービス名	PPPoE サービス名が指定されている場合は PPPoE サービス名を入力します。 通常は初期値の空欄のままで問題ありません。
ユーザーID *（必須）*	プロバイダ指定のユーザー名を入力します。 基本的に、プロバイダの接続マニュアルに記載のユーザー名と同じものを入力してください。 フレッツ ADSL の場合は、@から後ろもすべて入力してください。
パスワード *（必須）*	プロバイダ指定の接続パスワードを入力します。
認証方式	プロバイダ指定の認証方式を選択します。 特に指定のない場合は、[相手に合わせる]に設定します。
無通信タイムアウト時間	オンデマンド接続時に自動切断を行う時間を設定します。 ブラウザやメーラが全く通信を行っていない場合、この項目で設定した時間を超えると自動的に切断します。 ※[自動再接続]が[有効]に設定されている場合は無視されます。
自動再接続	常時接続の場合は[有効]をチェックします。 オンデマンド接続を行う場合は[無効]をチェックします。
プライマリ DNS アドレス	プロバイダ指定のプライマリ DNS アドレスを入力します。 特に指定のない場合は、設定する必要はありません。
セカンダリ DNS アドレス	プロバイダ指定のセカンダリ DNS アドレスを入力します。 特に指定のない場合は、設定する必要はありません。



参考

[認証方式]について

PAP‥‥最も簡単な認証方式ですが、通信回線をモニタされるとユーザー名とパスワード情報が盗まれる可能性があります。

CHAP…PAP と違って、ユーザー名やパスワード情報をそのまま渡さない（流さない）ため、安全性が高い。

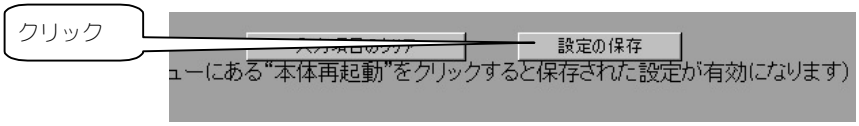
[自動再接続]について

[有効]=常時接続…接続の要求にかかわらず、常に接続された状態になります。

[無効]=オンデマンド接続‥‥接続の要求に応じて接続を行います。

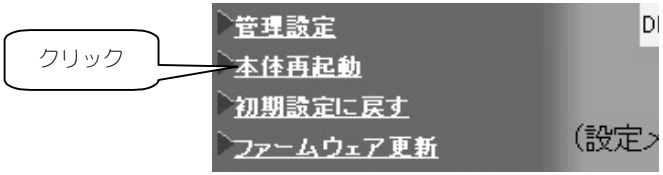
3 設定したら、画面下の［設定の保存］ボタンをクリックします。

しばらくすると、「保存しました」と表示されます。



4 ［設定メニュー］欄の［本体再起動］をクリックします。

本製品を再起動します。



注意！

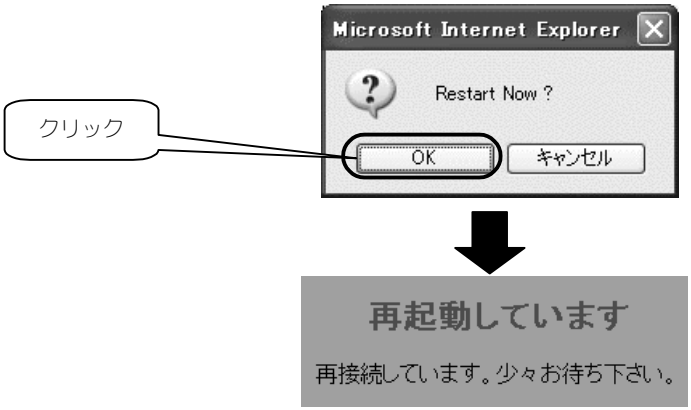
・手順3での[設定の保存]だけでは本製品に設定が反映されません。
上記の[本体再起動]を行ってはじめて本製品に設定が反映されます。
・[本体再起動]を行うと、一時的にネットワークが切断された旨のメッセージが表示されますが、自動で再接続するため問題ありません。

参考

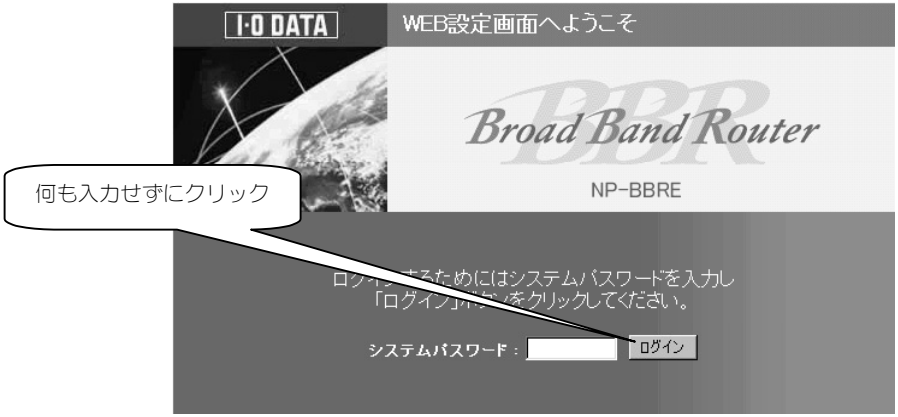
[本体再起動]では、設定した内容を本製品に反映後、本製品内部で再起動(リスタート)を行う処理です。パソコン側の再起動とは無関係です。

5 以下の画面で［OK］ボタンをクリックします。

⇒設定画面上に「再起動しています」と表示されます。
表示が消えるまでしばらくお待ちください。



6 以下の画面が表示されますので、何も入力せずに
［ログイン］ボタンをクリックします。



7 再起動が終了すると、以下の画面が表示されます。
［接続状態］に時間が表示されていることを確認してください。

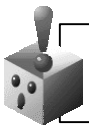


●[接続状態]に時間が表示されている場合

ADSL接続が完了し、インターネットに接続できる状態です。

●[接続状態]が「ー」表示のままの場合

プロバイダとの接続が切れている、もしくは正常に接続できていない状態です。設定が正しくできていない可能性があります。再度[ユーザー名]や[パスワード]を確認してください。



設定したのに、［接続状態］の表示が「ー」のまま場合は…

【困ったときには】の116ページをご参照ください。

以上でインターネットに接続できます。



注意！

本製品を DHCP サーバーとしてご利用になっている場合は、必ず本製品の電源を入れた後で、パソコンの電源を入れてください。

PPPoE以外で使用する
～CATVや一部のASDLなど～

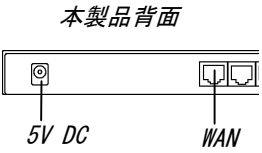
CATVで使用する場合や、ADSL/FTTHでもPPPoE認証を行わない場合とルータタイプのモデムをご使用の場合の設定です。

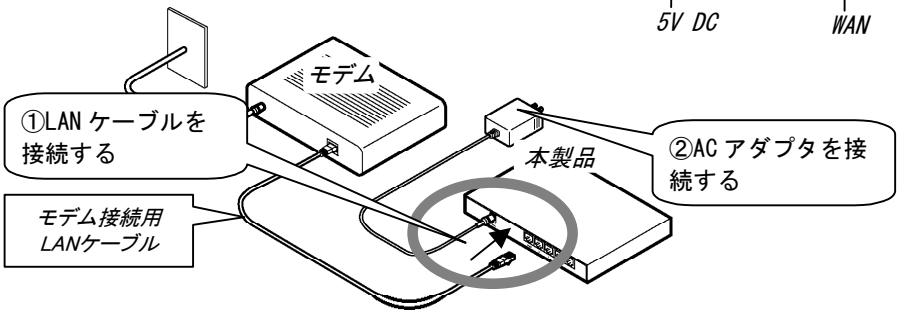
本製品をモデムに接続する

1 モデムの電源が入っていることを確認します。

2 本製品のACアダプタをいったん外します。

3 本製品の［WAN］コネクタにモデムのLANケーブルを接続し、本製品のACアダプタを接続します。



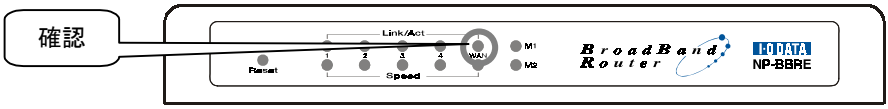


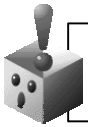
注意！

・LAN ケーブルを接続してから AC アダプタを接続してください。
AC アダプタを接続した後に LAN ケーブルを接続すると、本製品を正しく使用できません。
・モデムの電源が入っている状態で接続してください。
電源が入っていないと、本製品を正しく使用できません。
・モデムとの接続は、必ず［WAN］コネクタで接続してください。
他のコネクタに接続すると、本製品を正しく使用できません。

4 接続後しばらくして、本製品の［WAN］側[LINK]ランプが点滅することを確認してください。

本製品前面





［M1］ランプが
点滅しない場合は…

LAN ケーブルや AC アダプタの接続を再度ご確認ください。

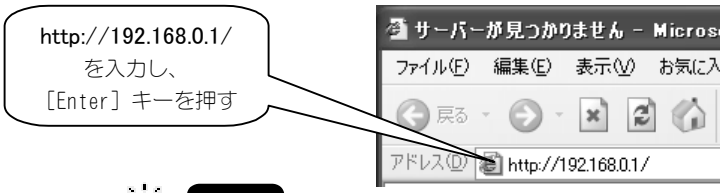
【メニュー画面を起動する】（次ページ）へお進みください。

メニュー画面を起動する

1 パソコンの電源を入れます。

2 Webブラウザを起動して以下を開きます。
「http://192.168.0.1/」

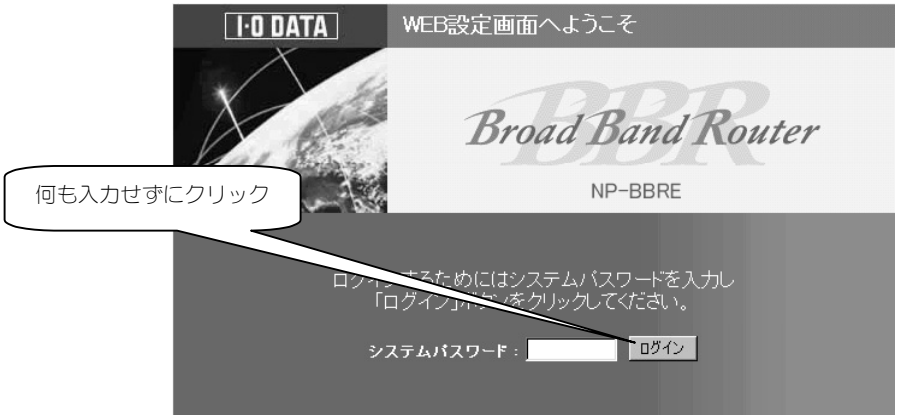
▼Internet Explorerでの例



注意！

【５．メニュー画面を起動する】（50 ページ）で本製品 LAN 側の IP アドレスを変更した場合は、「http://192.168.254.1/」と入力してください。

3 **以下の画面が表示されますので、何も入力せずに［ログイン］ボタンをクリックします。**



上記の画面が
表示されない場合は…

【困ったときには】の
111 ページを
ご参照ください。

4 以下の画面が表示された場合は、内容を確認後、［はい］ボタンをクリックします。



5 **設定画面が表示されますので、［詳細設定］をクリックします。**



【回線に接続する】（次ページ）へお進みください。

参考

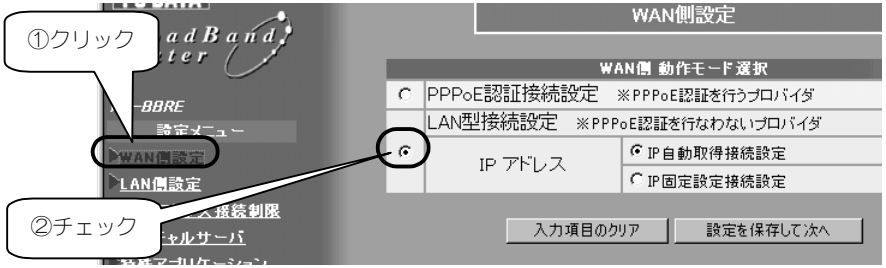
［簡単設定ウィザード］を使用すると、簡単にインターネットの接続できます。詳しくは、別冊のクイックガイドをご覧ください。

回線に接続する

1 ［LAN型接続設定］にチェックします。

①［設定メニュー］欄の［WAN側設定］をクリックします。

②［LAN型接続設定］をチェックします。



参考

WAN 側とは、ADSL/FTTH/CATV のプロバイダ側のことです。

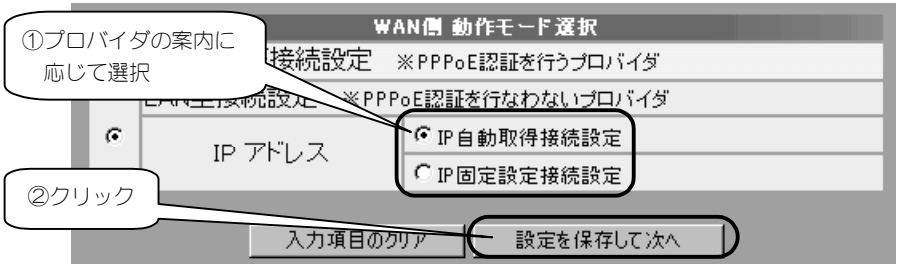
2 プロバイダの案内に応じて以下を行います。

・*プロバイダから指示されたインターネット用（WAN側）のIPアドレスが自動取得の場合*

→［IP自動取得接続設定］をチェック後、［設定を保存して次へ］ボタンをクリックします。

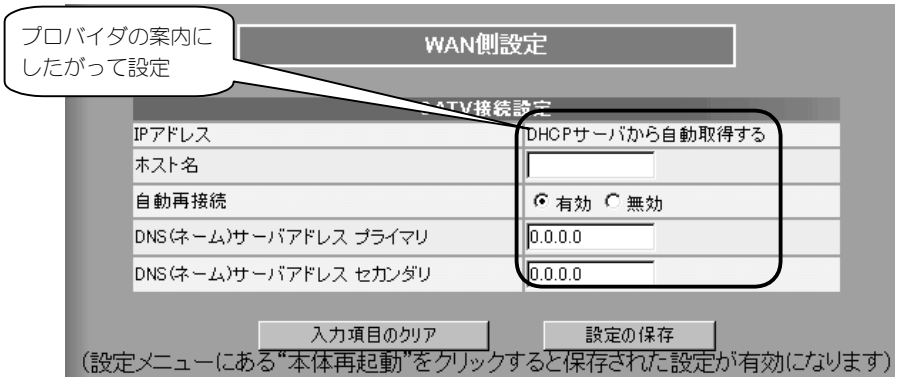
・*プロバイダから指示されたインターネット用（WAN側）のIPアドレスが固定の場合*

→［IP固定設定接続設定］をチェック後、［設定を保存して次へ］ボタンをクリックします。



・IP自動取得接続の場合

プロバイダから案内されている資料をもとに、以下の設定を行ってください。
特に指定のない個所は空欄（または初期値）のまま変更する必要はありません。



ホスト名	プロバイダ指定のホスト名を必要に応じて入力します。
自動再接続	常時接続の場合は[有効]をチェックします。 オンデマンド接続を行う場合は[無効]をチェックします。
プライマリ DNS アドレス	プロバイダ指定のプライマリ DNS アドレスを入力します。 特に指定のない場合は、設定する必要はありません。
セカンダリ DNS アドレス	プロバイダ指定のセカンダリ DNS アドレスを入力します。 特に指定のない場合は、設定する必要はありません。

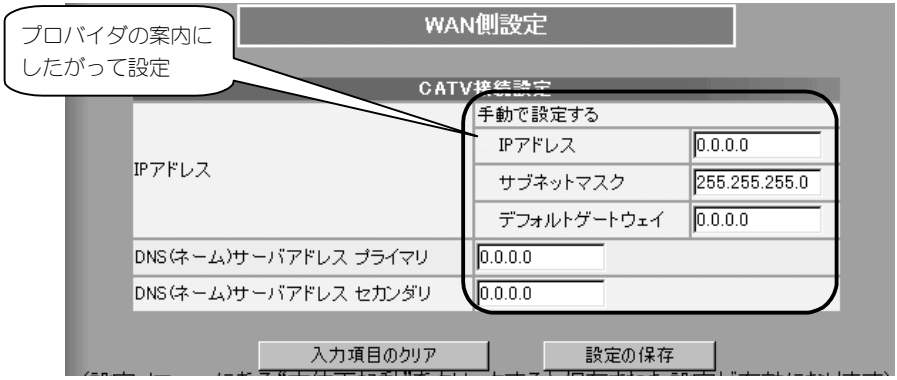
参考

[自動再接続]について

[有効]=常時接続…接続の要求にかかわらず、常に接続された状態になります。
[無効]=オンデマンド接続・・・接続の要求に応じて接続を行います。
CATV の場合は、常時接続になりますので、[自動再接続]は[有効]に設定してください。

・IP固定設定接続の場合

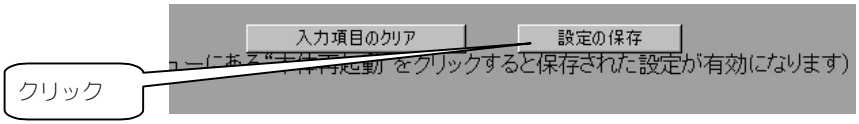
プロバイダから案内されている資料をもとに、以下の設定を行ってください。
特に指定のない個所は空欄（または初期値）のまま変更する必要はありません。



IP アドレス	プロバイダ指定のインターネット用（WAN 側）IP アドレスを入力します。*（必須）*
サブネットマスク	プロバイダ指定のサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	プロバイダ指定のデフォルトゲートウェイを入力します。
プライマリ DNS アドレス	プロバイダ指定のプライマリ DNS アドレスを入力します。 特に指定のない場合は、設定する必要はありません。
セカンダリ DNS アドレス	プロバイダ指定のセカンダリ DNS アドレスを入力します。 特に指定のない場合は、設定する必要はありません。

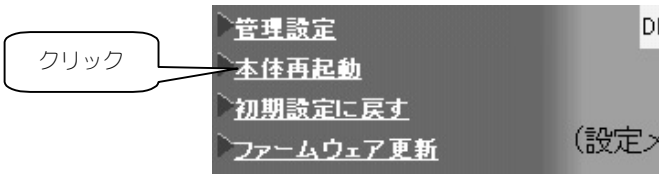
3 設定したら、画面下の［設定の保存］ボタンをクリックします。

しばらくすると、「保存しました」と表示されます。



4 ［設定メニュー］欄の［本体再起動］をクリックします。

本製品を再起動します。



注意！

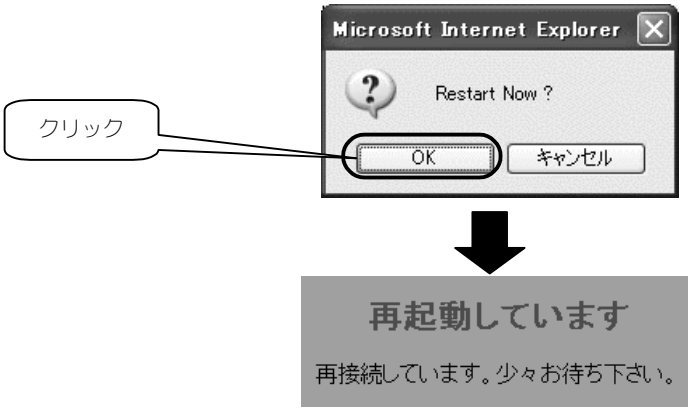
・手順3での[設定の保存]だけでは本製品に設定が反映されません。
上記の[本体再起動]を行ってはじめて本製品に設定が反映されます。
・[本体再起動]を行うと、一時的にネットワークが切断された旨のメッセージが表示されますが、自動で再接続するため問題ありません。

参考

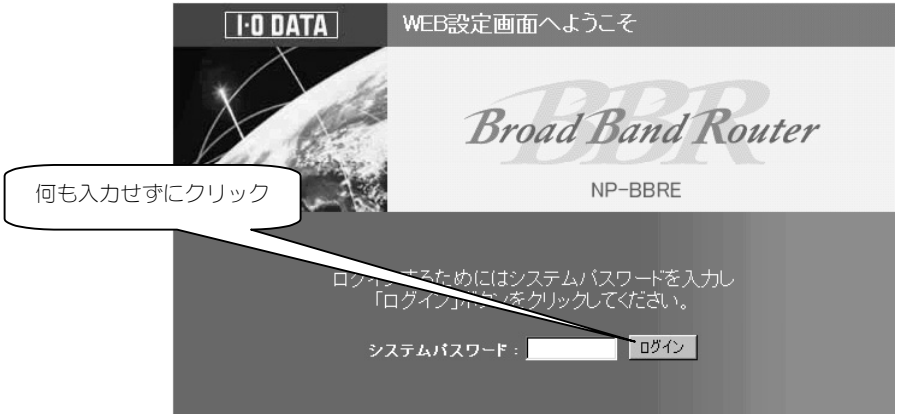
[本体再起動]では、設定した内容を本製品に反映後、本製品内部で再起動(リスタート)を行う処理です。パソコン側の再起動とは無関係です。

5 以下の画面で［OK］ボタンをクリックします。

⇒設定画面上に「再起動しています」と表示されます。
表示が消えるまでしばらくお待ちください。



6 以下の画面が表示されますので、何も入力せずに
［ログイン］ボタンをクリックします。



7 再起動が終了すると、以下の画面が表示されます。

［WAN側］の［リース残り時間］（または［IPアドレス］）がプロバイダから取得されている（「0」以外の表示となっている）ことを確認してください。

・IP自動取得接続の画面例

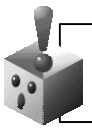


●［WAN側］の｛リース残り時間｝が取得されている場合

CATV接続が完了し、インターネットに接続できる状態です。

●［WAN側］の｛リース残り時間｝を取得できていない（「00.00.00」のままとなっている）場合

プロバイダとの接続が切れている、もしくは正常に接続できていない状態です。設定が正しくできていない可能性があります。再度［LAN側接続設定］を確認してください。



設定したのに、表示が「0」のままの場合は…

【困ったときには】の 118 ページをご参照ください。

・IP固定設定接続の画面例

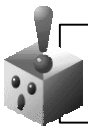


●[WAN側]の{IPアドレス}が正しく表示されている場合

CATV接続が完了し、インターネットに接続できる状態です。

●[WAN側]の{IPアドレス}が正しく表示されていない(「0.0.0.0」のままとなっている)場合

プロバイダとの接続が切れている、もしくは正常に接続できていない状態です。設定が正しくできていない可能性があります。再度[LAN側接続設定]を確認してください。



設定したのに、表示が
「0. 0. 0. 0」のままの場合は…

【困ったときには】の
118 ページを
ご参照ください。

以上でインターネットに接続できます。



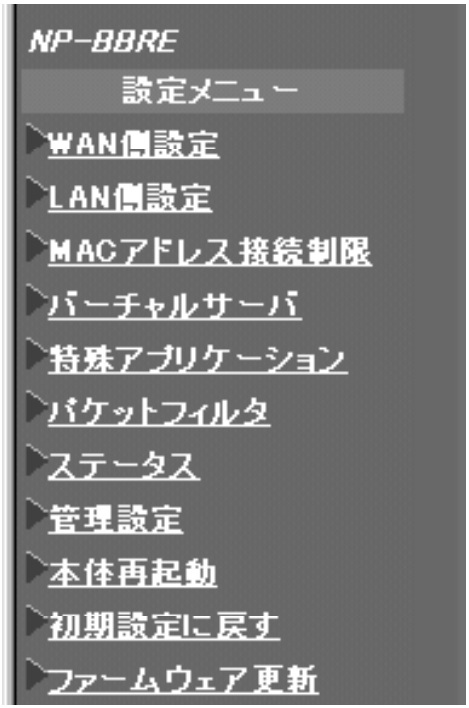
注意！

本製品を DHCP サーバーとしてご利用になっている場合は、必ず本製品の電源を入れた後で、パソコンの電源を入れてください。

MEMO

その他の設定

ADSL/FTTH/CATV



LAN側設定
（本製品のIPアドレスやDHCPサーバー機能を設定する）

ここでは、[設定メニュー]の[LAN側設定]について説明します。





IP アドレス	本製品の IP アドレスを入力します。 初期値：192.168.0.1
DHCP サーバー	本製品の DHCP サーバー機能の有効・無効を設定します。 初期設定では、192.168.0.2～192.168.0.32 の 31 台までを割り当てる設定となっています。 （最大 192.168.0.2～192.168.0.254 の 253 台） ・[開始 IP アドレス]は、クライアントに割り当てる最初の IP アドレス ・[終了 IP アドレス]はクライアントに割り当てる最後の IP アドレス
プライマリ WINS アドレス	WINS サーバーを併用して運用されている場合は、ここにプライマリ WINS サーバーアドレスを入力します。
セカンダリ WINS アドレス	WINS サーバーを併用して運用されている場合は、ここにセカンダリ WINS サーバーアドレスを入力します。
IP アドレスを 固定する MAC アドレス	設定した MAC アドレスのネットワーク機器にいつも決まった IP アドレスを割り当てます。

MACアドレス接続制限
（接続できるパソコンを限定する）

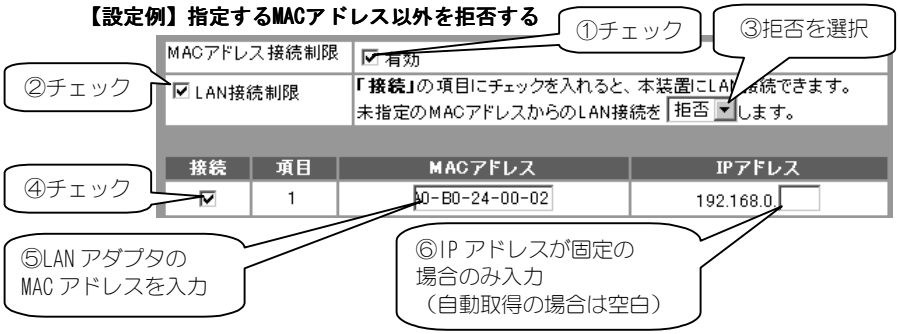
［設定メニュー］の［MACアドレス接続制限］は、
LANアダプタのMACアドレスごとに、
本製品への接続の許可・拒否できます。





MAC アドレス接続制限	接続しているパソコンの接続を許可する場合にチェックします。接続を禁止する場合はチェックを外します。
LAN 接続制限	LAN 接続の、「許可」「拒否」を選択します。
接続	チェックした項目を適用します。
MAC アドレス	接続を制限するパソコン（LAN アダプタ）の MAC アドレスを入力します。 “-”も入力してください。例） xx-xx-xx-xx-xx-xx
IP アドレス	接続を制限するパソコンの IP アドレスを入力します。 IP アドレスを指定しない場合は空欄にしてください。

【設定例】指定するMACアドレス以外を拒否する



バーチャルサーバ
（Webサーバなどをインターネット上で公開する）

ここでは、[設定メニュー]の[バーチャルサーバ]について説明します。



[バーチャルサーバ]設定では、Web サーバ・FTPサーバ・e-mail サーバなどを自設する場合に、該当のサービスポートとプライベートIPアドレスを設定して、使用することができます。

[サーバーIPアドレス]は固定で使用してください。（DHCPで割り当てる範囲外のIPアドレスとしてください。）



有効	チェックを入れると設定した内容が有効になります。
ID	設定の見出し番号です。
サービスポート番号	WebやFTPなど、どのサービスに対してポートを開けるかをポート番号で指定します。 範囲指定ができます。（範囲を指定する場合は“–”を使います。） 例）　120–150
サーバIPアドレス	Web サーバや FTP サーバなど、公開するサーバの IP アドレスを指定します。
コピー	よく使用するポート番号をリストから選び、コピーできます。 ①コピーをクリックします。 ②プルダウンメニューからポート番号を選び[コピー]をクリックします。 ③[終了]をクリックします。 →各値がコピーされます。

特殊アプリケーション
（特殊なアプリケーションのポートを設定する）

ここでは、[設定メニュー]の[特殊アプリケーション]について説明します。



特殊アプリケーションは、複数のポートを有効にすることを設定できます。
NATなどのファイヤウォール下で通信機能が動作できない場合に利用します。
詳しい内容については、各アプリケーションの取扱説明書を参照してください。



有効	チェックを入れると設定した内容が有効になります。
番号	設定の見出し番号です。
トリガ	ここで指定したポートへアプリケーションからの要求があるとアプリケーションに必要な全てのポートが開かれます。
インカミング ポート番号	アプリケーションが使用するポートの番号を入力します 複数および範囲指定ができます。（連続していない複数のポートは“，”(カンマ)で区切り、範囲を指定する場合は“–”を使います。） 例） 25,80,120–150
コピー	よく使用するポート番号をリストから選び、コピーできます。 ①コピーをクリックします。 ②プルダウンメニューからポート番号を選び[コピー]をクリックします。 ③[終了]をクリックします。 →各値がコピーされます。



注意！

特殊アプリケーションを有効にすると、同時に2台以上のインターネット接続ができなくなります。

パケットフィルタ
（使用できるアプリケーションを限定する）

ここでは、[設定メニュー]の[パケットフィルタ]について説明します。



LAN に外部からの接続を許す際には、セキュリティに充分配慮する必要があります。***パケットフィルタ機能*** を使った簡易ファイヤウォールにて、以下のことができます。

・LANから外部に出て行くパケットを制限する（次ページ参照）

・外部からLANに入るパケットを制限する（120ページ参照）

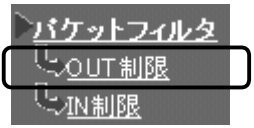
本製品でこの機能が有効になっていると、IP パケットを単にルーティングするだけでなく、パケットのヘッダ情報を調べて、送信元や送信先の IP アドレス、プロトコルの種類（TCP/UDP）、ポート番号などに基づいて、パケットを通過させたり破棄したりすることができます。
このようなパケットフィルタ機能は、コンピュータやアプリケーション側の設定を変更する必要がないため、ユーザがパケットフィルタの存在を意識することなく、簡単に利用できます。

・パケットフィルタ設定時のポイント・注意

・一般的には、すべてのパケットの通過を禁止しておき、ユーザに提供したいサービス（アプリケーション）のパケットだけが通過できるように、フィルタリングを設定します。
・本製品は IP パケットのみをフィルタリング制御の対象とします。
その他のレイヤー3 プロトコルは、すべて遮断します。
・工場出荷の状態では、フィルタは設定されていません。ユーザは OUT/IN それぞれ8個までのフィルタを設定することができます。

LANから外部に出て行くパケットを制限する

ここでは、[設定メニュー]の[パケットフィルタ]の下の[OUT制限]でLANから外部に出て行くパケットを制限することができます。



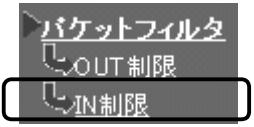


パケットフィルタOUT制限	パケットOUT方向(LAN→WAN[インターネット]方向)のフィルタ制限を行うか否かを選択します。
パケットの通過	フィルタの条件に合致したとき、そのパケットを通過させるか破棄するかを選択します。 ・*通過させる* 条件に合ったパケットのみを通過させ、残りはすべて破棄します。 ・*破棄する* 条件に合ったパケットのみを破棄し、残りはすべて通過させます。

有効	チェックを入れると設定した内容が有効になります。
ID	設定の見出し番号です。
送信元IPアドレス	フィルタリングの条件として、パケットの送信元のIPアドレスを設定します。入力方法は以下のとおりです。 *単一のアドレスを指定する場合：* 送信元IP アドレス *アドレスの範囲を指定する場合：* 送信元アドレス始点－送信元アドレス終点(ハイフンで結ぶ) すべての送信元を対象とする場合は、空欄にします。
ポート番号	フィルタリング対象とする送信元のポートを選択します。 ポート番号を直接指定してください。範囲での指定も可能です。(範囲を指定する場合は“–”を使います。) 例) 120-150 また、ポート番号の前に“T”を入力するとTCPのみ、“U”を入力するとUDPのみが対象となります。
受信先IPアドレス	フィルタリングの条件として、パケットの受信先(あて先)IPアドレスを設定します。入力方法は以下のとおりです。 *単一のアドレスを指定する場合：* 受信先IPアドレス *アドレスの範囲を指定する場合：* 受信先アドレス始点－受信先アドレス終点(ハイフンで結ぶ) すべての受信先を対象とする場合は空欄にします。
ポート番号	フィルタリング対象とする受信先のポートを選択します。 ポート番号を直接指定してください。範囲での指定も可能です。(範囲を指定する場合は“–”を使います。) 例) 120-150 また、ポート番号の前に“T”を入力するとTCPのみ、“U”を入力するとUDPのみが対象となります。

外部からLANに入るパケットを制限する

ここでは、[設定メニュー]の[パケットフィルタ]の下の[IN制限]で外部からLANに入るパケットを制限することができます。





パケットフィルタIN制限	パケットIN方向（WAN[インターネット]→LAN方向）のフィルタ制限を行うか否かを選択します。
パケットの通過	フィルタの条件に合致したとき、そのパケットを通過させるか破棄するかを選択します。 ・*通過させる* 条件に合ったパケットのみを通過させ、残りはすべて破棄します。 ・*破棄する* 条件に合ったパケットのみを破棄し、残りはすべて通過させます。

有効	チェックを入れると設定した内容が有効になります。
ID	設定の見出し番号です。
送信元IPアドレス	フィルタリングの条件として、パケットの送信元のIPアドレスを設定します。入力方法は以下のとおりです。 *単一のアドレスを指定する場合：* 送信元IP アドレス *アドレスの範囲を指定する場合：* 送信元アドレス始点－送信元アドレス終点(ハイフンで結ぶ) すべての送信元を対象とする場合は、空欄にします。
ポート番号	フィルタリング対象とする送信元のポートを選択します。 ポート番号を直接指定してください。範囲での指定も可能です。(範囲を指定する場合は －（ハイフン)を使います。) 例） 120-150 また、ポート番号の前に“T”を入力するとTCPのみ、“U”を入力するとUDPのみが対象となります。
受信先IPアドレス	フィルタリングの条件として、パケットの受信先(あて先)IPアドレスを設定します。入力方法は以下のとおりです。 *単一のアドレスを指定する場合：* 受信先IPアドレス *アドレスの範囲を指定する場合：* 受信先アドレス始点－受信先アドレス終点(ハイフンで結ぶ) すべての受信先を対象とする場合は空欄にします。
ポート番号	フィルタリング対象とする受信先のポートを選択します。 ポート番号を直接指定してください。範囲での指定も可能です。(範囲を指定する場合は －（ハイフン)を使います。) 例） 120-150 また、ポート番号の前に“T”を入力するとTCPのみ、“U”を入力するとUDPのみが対象となります。

ステータス
（現在の接続・設定状態を確認する）

ここでは、[設定メニュー]の[ステータス]
について説明します。



[ステータス]では、接続/切断状況や本製品の設定内容を表示することができます。



・WAN側

接続状態	現在の接続状態が表示されます。
リース残り時間 *（CATV接続設定で[IPアドレスをDHCPで取得する]時のみ）*	DHCP サーバーから取得した IP アドレスのリース残り時間を表示します。
[接続]ボタン [切断]ボタン	ADSL(PPPoE)の場合は、[接続][切断]のボタンをクリックすることにより、手動で接続/切断作業が行えます。（オンデマンド接続）
[書換]ボタン *（CATV接続設定で[IPアドレスをDHCPで取得する]時のみ）*	CATV（DHCP で取得）の場合は、[書換]ボタンをクリックすることにより、手動で DHCP サーバーより IP アドレスの書き換えを行います。

IP アドレス	現在、WAN側にてプロバイダから取得または手動設定されているIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	現在、WAN側にてプロバイダから取得または手動設定されているサブネットマスクを表示します。
デフォルト ゲートウェイ	現在、WAN側にてプロバイダから取得または手動設定されているデフォルトゲートウェイを表示します。
DNS（ネーム）サーバアドレス プライマリ	現在、WAN側にてプロバイダから取得または手動設定されているプライマリDNSアドレスを表示します。
DNS（ネーム）サーバアドレス セカンダリ	現在、WAN側にてプロバイダから取得または手動設定されているセカンダリDNSアドレスを表示します。
MACアドレス	本製品のWAN側のMACアドレスを表示します。

・LAN側

IPアドレス	本製品に割り当てられている IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	本製品に割り当てられているサブネットマスクを表示します。
DHCPサーバー	本製品の DHCP サーバー機能の有効・無効を表示します。
MACアドレス	本製品の LAN 側の MAC アドレスを表示します。

［最新情報に更新］ボタン	表示を最新に更新します。
［接続ログ］ボタン	［接続ログ］画面では本製品のシステム上で発生したイベントや情報を表示することができます。（次ページ参照）
［DHCPクライアント情報］ボタン	DHCP クライアント情報を表示します。（次ページ参照）

・接続ログ

本製品の接続に関しての簡易ログが表示されます。



・DHCPクライアント情報

本製品がDHCPサーバ機能を使用して割り当てを行っているパソコンのリストが表示されます。



IPアドレス	ホスト名	MACアドレス
192.168.0.2	pcg-sr9k	00-A0-B0-24-00-02
192.168.0.3	pcg-c1xe	00-A0-B0-15-40-06
192.168.0.10	TP560	00-E0-98-99-B2-43
192.168.0.21	iBook	00-03-93-05-87-A0

管理設定
（パスワード、セキュアホスト、DMZホストを設定する）

ここでは、[設定メニュー]の[管理設定]
について説明します。



管理設定では、管理者パスワードの変更や管理者タイムアウト時間、セキュアホスト、DMZホストを設定することができます。



パスワードを設定する

本製品の設定は、装置が接続されているネットワークのセキュリティにも影響を与えます。したがって、設定内容が無断で変更されたりしないよう、セキュリティに責任を持つネットワーク管理者だけが変更できるようにする必要があります。
本製品の場合、設定画面起動時に入力するパスワードによって部外者からの設定変更を防ぐことができます。
工場出荷時にパスワードは設定されていませんので、パスワードを設定することをおすすめします。



注意！

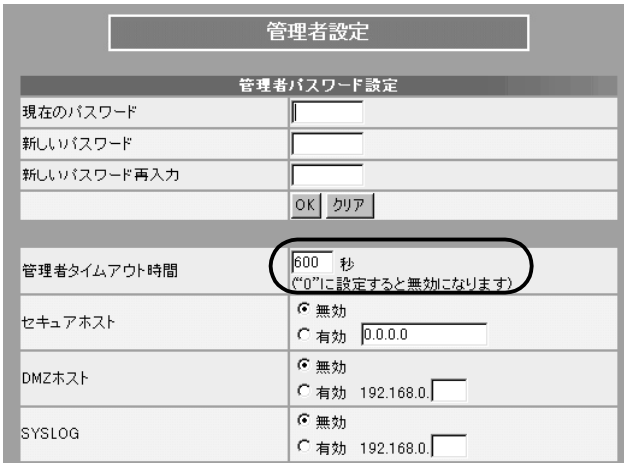
パスワードは、設定なしに変更することはできません。

参考

パスワードは必ずメモなどして忘れないようにしてください。
お忘れになった場合は、【[RESET]ボタンによる初期設定への戻し方】(133 ページ)を参照して購入時の「パスワード設定なし」の状態に戻すことができますが、すべての設定した内容が購入時の状態に戻りますので、最初からすべて設定しなおす必要があります。

管理者のタイムアウト時間を設定する

設定された時間、設定画面にアクセスを行わないと自動的にログアウトします。
再度設定を行いたい場合は、ログインしなおしてください。



参考

"0"に設定するとタイムアウトは無効になります。

セキュアホストを設定する

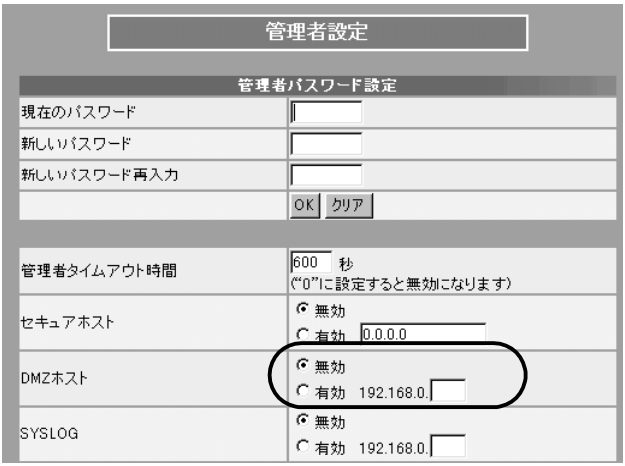
セキュアホストとは、NATを使用している場合でもインターネット側から本製品にアクセスして、リモートで本製品の設定を変更できるようにする機能のことです。



セキュアホスト	セキュアホストを有効にした場合、セキュアホスト機能を利用するIPアドレスを指定します。 始点IPアドレスに「0.0.0.0」を設定すると、インターネット上の全てのホストから本製品にアクセスできます。 （*危険な設定です。!*） このときWebアクセスポートは“81”に変更になります。 “10.1.2.0/24”のようにサブネットマスクビットを指定すると特定のIPアドレスグループを指定することができます。

DMZホストを設定する

[DMZホスト]設定では、インターネットゲーム（対話型）やテレビ会議などの双方向で使用する場合に、 使用パソコンのプライベートIPアドレスを指定します。
セキュリティ上、必要な時以外は、使用しないでください。
IPアドレスは固定で使用してください。（DHCPで割り当てる範囲外のIPアドレスとしてください。）



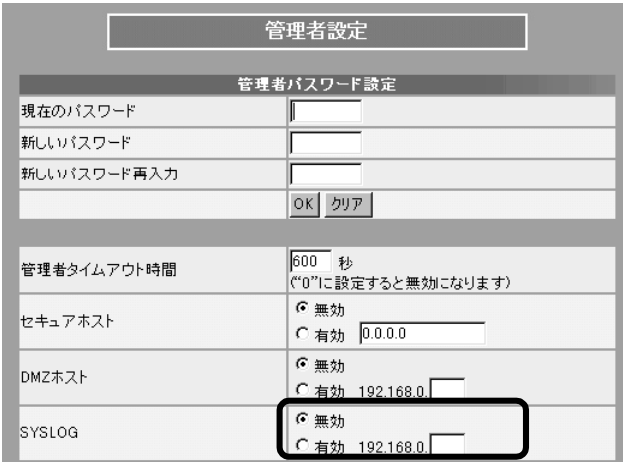
DMZホスト	有効にした場合は、DMZホスト機能を有効にするパソコンのIPアドレスを入力します。

注意！

DMZ ホストを有効にした場合、DMZ ホストに指定されたパソコン以外のパソコンからもインターネットへの接続は可能ですが、バーチャルサーバ機能との併用はできません。

SYSLOGを設定する

[SYSLOG]設定では、“本製品で発生したイベントの情報（システム・ログ情報）を転送するパソコン”のプライベートIPアドレスを指定します。
SYSLOGを受信するためには、SYSLOGサーバーソフトウェアが必要です。
（インターネット上で、フリーウエアをダウンロードできます。）
なお、指定するIPアドレスは固定IPアドレスとしてください。（DHCPで割り当てる範囲外のIPアドレスとしてください。）



SYSLOG	有効にした場合は、ログを転送するパソコンのIPアドレスを入力します。

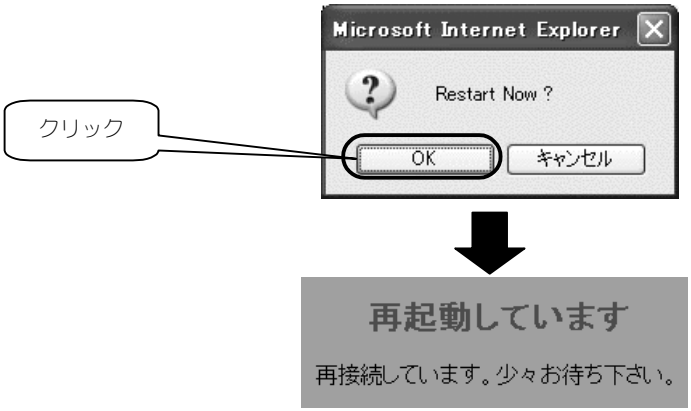
本体再起動
（本製品内部で再起動させる）

ここでは、[設定メニュー]の[本体再起動]
について説明します。



設定した内容を本製品に反映させるには、必ず再起動が必要です。

[本製品再起動]をクリックすると以下の画面が表示されます。
[OK]ボタンをクリックします。
設定画面上に「再起動しています」と表示されます。
正常に再起動が終了すると、ステータス画面に戻ります。



初期設定に戻す
（設定をすべて初期の設定に戻す）

ここでは、[設定メニュー]の[初期設定に戻す]について説明します。

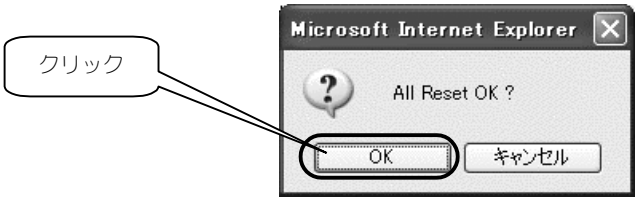


設定をすべてはじめから行いたい場合などに行います。

注意！

- **以下の手順を行うと、変更した設定内容は、管理者パスワード以外すべて工場出荷時状態になります。設定画面で最初からすべて設定し直してください。**
- **管理者パスワードのみ初期化されません。管理者パスワードを含めたすべてを初期化する場合は、[Reset]ボタンによる初期化を行ってください。（【[Reset ボタンによる初期設定への戻し方】101 ページ参照）**

[初期設定に戻す]をクリックすると以下の画面が表示されます。
[OK]ボタンをクリックします。
設定がすべて初期設定に戻ります。



ファームウェア更新
（本製品のファームウェアを更新する）

ここでは、[設定メニュー]の[ファームウェア更新]について説明します。

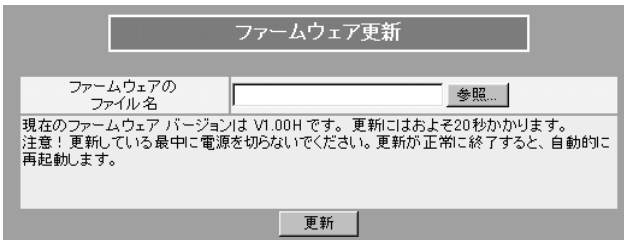


本製品のファームウェアを最新のファームウェアにアップデートすることができます。

1 弊社ホームページの「サポートライブラリ」（ *http://www.iodata.jp/lib/* ）より、最新のファームウェアファイルを入手してください。

2 入手後、[設定メニュー]の[ファームウェアの更新]をクリックします。

3 以下の画面が表示されます。
[参照]ボタンでファームウェアファイルの場所を指定します。
指定後、[更新]ボタンをクリックします。20秒ほどそのままお待ちください。





注意！

更新中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。
故障の原因となります。

4 更新が正常に終了すると、本製品は再起動を行います。

[Reset]ボタンによる初期設定への戻し方
（本製品前面の[Reset]ボタンでの操作）

ここでは、本製品前面の[Reset]ボタンで本製品を初期設定に戻す手順について説明します。
[設定メニュー]の[初期設定に戻す]でも本製品を初期設定に戻すことができますが、設定画面が起動しないなど、手動で行うしかない場合に以下の手順を行ってください。

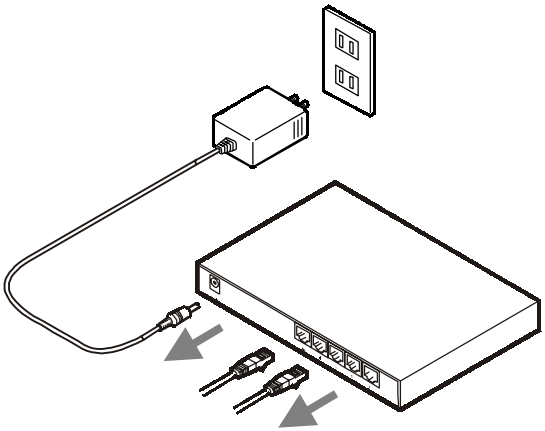


注意！

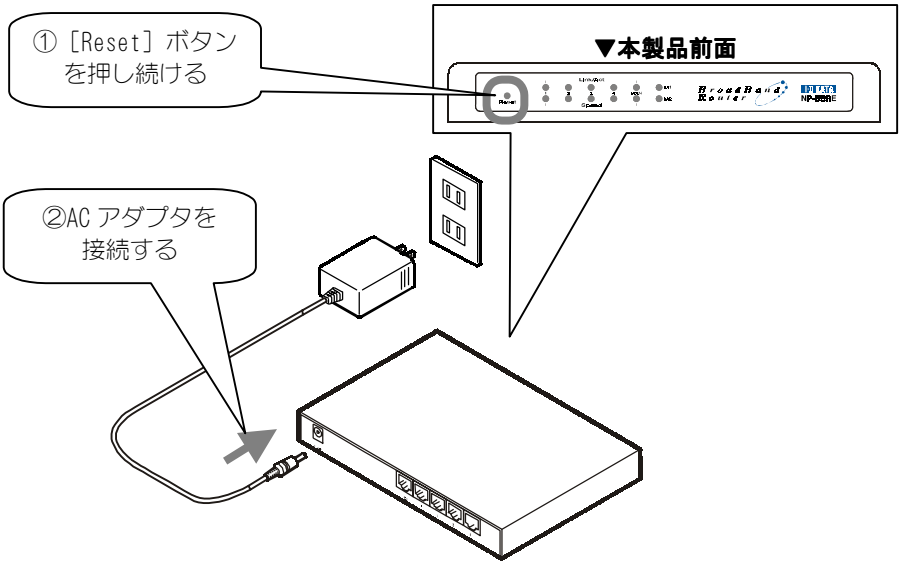
以下の手順を行うと、変更した設定内容は、すべて初期設定（出荷時設定）となります。設定画面で最初からすべて設定し直してください。

1 本製品を使っていないことを確認します。

2 本製品からACアダプタやLANケーブルを取り外します。



3 [Reset]ボタンを細いピンなどで押し続けながら、
ACアダプタを接続します。（本製品の電源を入れます）
[M1]ランプと[M2]ランプが同時に点滅
⇒ [M1]ランプのみ点滅
⇒ [RESET]ボタンを離します。
（上記の動作には、約10秒かかります。）



以上で本製品を初期設定に戻す設定は終了です。
再度最初から本製品を設定し直してください。

Windows Messengerについて

ここでは、Windows MessengerやMSN Messengerを利用する方法やUPnP設定について説明します。

Windows Messengerを利用する

Windows Messengerの確認方法を説明します。

104ページ

UPnPを設定する

UPnPの設定/確認方法を説明します。

105ページ

Windows Messengerを利用する

本製品ではユニバーサルプラグアンドプレイ(UPnP)機能を使用し、下記に対応しております。

●Windows XPのWindows Messenger（Ver.4.6以上）

●Windows MeのMSN Messenger（Ver.4.6以上）

※UPnPを使用するときは、最新のアプリケーションをご利用ください。

●Windows XPのWindows Messengerを利用する

UPnP機能を有効にして、Windows Messengerを利用すると、「インスタントメッセージの送信」以外に、「ファイルの送信」「ホワイトボード」「ビデオチャット」「音声チャット」がお楽しみいただけます。

●Windows MeのMSN Messengerを利用する

UPnP機能を有効にして、MSN Messengerを利用すると、「インスタントメッセージの送信」以外に、「ファイルの送信」「音声チャット」がお楽しみいただけます。



注意！

以下のような環境の場合、UPnP機能を使用してもWindows Messengerの一部機能しかご利用できませんのでご注意ください。

- プロバイダから、プライベートIPアドレスを割り当てられている場合
- ルータ機能内蔵タイプのADSLモデムに接続して使用する場合

Windows Messenger、MSN Messengerの使用方法については、マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

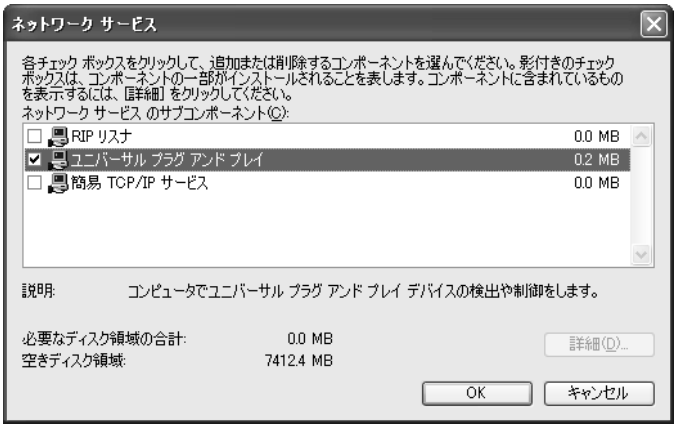
UPnPを設定する

本製品は常にUPnP機能が有効になっていますが、Windowsで下記設定をする必要があります。

●UPnPを設定する

●Windows XPの場合

①[スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。
②[プログラムの追加と削除]を開き、[Windowsコンポーネントの追加と削除]を開きます。
③[ネットワークサービス]を選び、[詳細]ボタンをクリックします。
④[ユニバーサルプラグアンドプレイ]にチェックを入れて[OK]ボタンをクリックします。

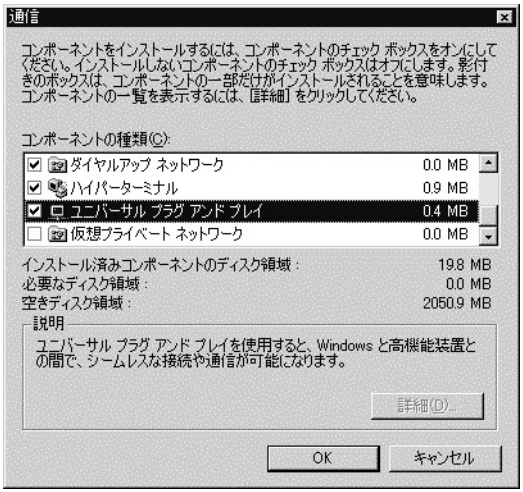


⑤「Windowsコンポーネントウィザード」に戻りますので[次へ]ボタンをクリックします。
⑥ウィザードが完了したら[完了]をクリックします。

これでUPnP機能は有効になります。

●Windows Meの場合

①マイクロソフト株式会社の指示にしたがい、DirectX8.1以降をインストールしてください。
※DirectXについてはマイクロソフト株式会社にお問い合わせ下さい。
②[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックします。
③[アプリケーションの追加と削除]を開き、[Windowsファイル]タブを開きます。
④[通信]を選び、[詳細]ボタンをクリックします。
⑤[ユニバーサルプラグアンドプレイ]にチェックを入れて[OK]ボタンをクリックします。



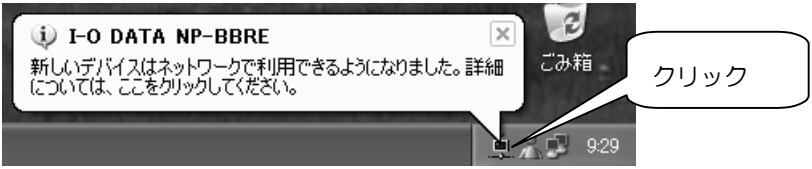
⑥[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]に戻りますので[OK]をクリックします。

これでUPnP機能は有効になります。

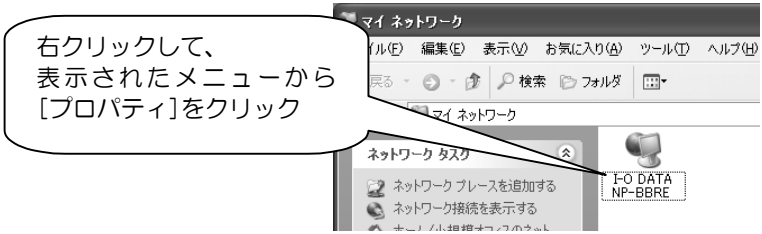
●UPnPを確認する

確認方法はWindows XP/Me共通です。（説明はWindows XPの例です。）

①UPnP機能が有効になると、ネットワーク上の本製品が検出され以下の画面が表示されますので、クリックします。



②本製品のアイコン上で右クリックし、[プロパティ]をクリックします。



③下の画面が表示されていたら、正常に本製品が認識されています。

※正常に認識されていない場合は、【●UPnPを設定する】をご覧の上、設定をご確認ください。



MEMO

その他

困った時には

本製品を使用して異常があった場合にご覧ください。 110ページ

TCP/IPの基礎知識

IPアドレスの設定例です。 120ページ

用語解説

用語について説明します。 127ページ

仕様

本製品の仕様です。 134ページ

困った時には

本製品を使用していて異常があった場合にご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考にしてください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A Newsなど

設定時のトラブル

状態	ページ
設定画面が表示されない	111
CATV 局がユーザを[コンピュータ名]で管理している場合の設定方法がわからない	112
パソコンを IP アドレスなどの自動取得(DHCP クライアント)として設定しているのに、IP アドレスなどを取得できない	
PPPoE 接続で取得したグローバル IP アドレスを調べたい	113
LAN 側(LAN コネクタ[1]～[4]側)の IP アドレスを変更したら接続できなくなった	
管理者の[パスワード]を忘れた	
設定画面で文字が入力できない	114
[TCP/IP]が表示されていない　(Windows Me/98/95 の場合)	

ADSL/FTTH/CATV接続時のトラブル

状態	ページ
ADSL/FTTH モデム(ブリッジタイプ)を使ってインターネットに接続できない	116
ADSL/FTTH モデム(ブリッジタイプ)を設定したのに、[ステータス情報]の[接続状態]の表示が「－」のままとなっている	117
CATV に接続できない	118
CATV を設定したのに、[ステータス情報]の[リース残り時間]または[IP アドレス]が取得できない	119
ブラウザを起動すると、以下のエラーが表示される *「モデムが正しく応答していません。モデムが電話回線およびコンピュータに正しく接続されているかどうかを確認してください。」*	

設定時のトラブル

設定画面が表示されない

原因1	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか（[POWER]ランプが点灯、[M1]ランプが点滅しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか再度確認してください。（パソコンを接続しているポートの[LAN-LINK]ランプが点灯または点滅しているか）

原因2	Web ブラウザが、プロキシ経由でインターネット接続するようになっている。
対処	WEB ブラウザから本製品の設定を行う場合は、ブラウザの設定でプロキシサーバーを使わない設定にしてください。 ブラウザがプロキシサーバーを使用する設定になっていた場合、本製品の設定画面を呼び出す事ができません。 なおプロバイダからの指示がプロキシサーバーを使用する設定で案内されている場合は本製品の IP アドレスのみ、プロキシサーバーを使用しない設定にする必要があります。 （【3. Web ブラウザを設定する】43 ページ参照）

原因3	ご使用のパソコンに IP アドレス、ゲートウェイアドレスが割り当てられていない
対処	【1. IP アドレスを設定する】(28 ページ)を参照して、IP アドレスの設定を確認してください。

CATV 局がユーザを[コンピュータ名]で管理している場合の設定方法がわからない

対処	CATV 局からの[コンピュータ名]を、本製品の[ホスト名]に設定してください。 （[WAN 側設定]→[CATV 接続設定]→[DHCP で取得する]→[ホスト名]へ設定してください。）

パソコンを IP アドレスなどの自動取得（DHCP クライアント）として設定しているのに、IP アドレスなどを取得できない

原因	ネットワークの設定に問題がある。
対処	本製品の[LAN-LINK]ランプが正しく点灯している場合は、以下の対応方法が考えられます。 ・DHCP でアドレスの解放と書き換えを行う。 ・LAN アダプタのドライバを最新のものへ更新する。 （ドライバの更新、通信方式の変更方法につきましては LAN アダプタのメーカーへお問い合わせください。） ・パソコンとの間にスイッチングハブが入っている場合は、スイッチングハブを初期化する。 （スイッチングハブの初期化方法についてはスイッチングハブのメーカーへお問い合わせください。） これらの方法でも DHCP クライアントとして IP アドレスなどを取得することができない場合は、お手数ですが、固定（手入力）でネットワークの設定を行ってください。なお、固定でネットワークの設定を行う場合は、ネットワークアドレスを合わせる必要があります。 デフォルト値（工場出荷値）で運用する場合は、TCP/IP 設定に以下の値を使用します。 IP アドレス： 192.168.0.2～192.168.0.254 から他の機器と重複しない任意の IP アドレス サブネットマスク： 255.255.255.0 デフォルトゲートウェイ（ルータアドレス）： 192.168.0.1

PPPoE 接続で取得したグローバル IP アドレスを調べたい

対処	Web ブラウザの設定メニューから[ステータス]を選択してください。 PPPoE(IPCP)で取得したグローバル IP アドレス([IP アドレス])、プロバイダ側でゲートとなっているマシンのグローバル IP アドレス([デフォルトゲートウェイ])、DNS サーバーアドレス([プライマリ DNS アドレス]、[セカンダリ DNS アドレス])を確認する事ができます。

LAN 側(LAN コネクタ[1]～[4]側)の IP アドレスを変更したら接続できなくなった

対処	*・パソコンに固定で IP アドレスを設定している場合* 1.パソコンの IP アドレスには、新しく設定した(変更した)ルータの LAN 側 IP アドレスと同じネットワーククラスの IP アドレスを設定してください。 2.パソコンのゲートウェイ(ルータアドレス)と DNS アドレスには、新しく設定した(変更した)ルータの LAN 側 IP アドレスを設定してください。 *・パソコンに IP アドレスを自動的に取得させている場合* パソコンの再起動、または、パソコンが自動的に取得しているアドレスの解放と書き換えを行ってください。

管理者の[パスワード]を忘れた

対処	本製品前面の[初期化スイッチ](RESET)ボタンで、再度新しい設定を行うことができます。(ただし、すべての設定が初期状態に戻ります。)(101 ページ参照)

設定画面で文字が入力できない

原因1	入力個所をクリックしていない。
対処	一度入力したい個所をクリックしてから入力してください。

原因2	入力できない文字を入力しようとしている。
対処	入力できる文字かを確認してから入力してください。

[TCP/IP]が表示されていない （Windows Me/98/95 の場合）

原因	TCP/IP プロトコルがインストールされていない。
対処	下記の手順で TCP/IP をインストールします。

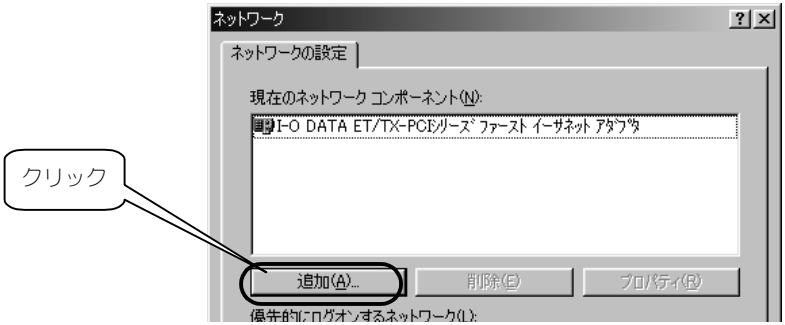
1 「ネットワーク」を起動します。

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、

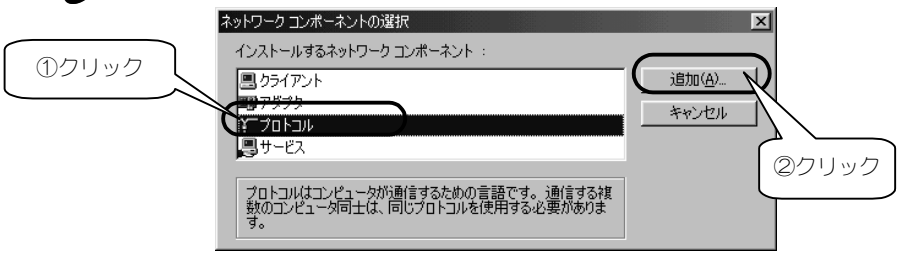
[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

2 [追加]ボタンをクリックします。

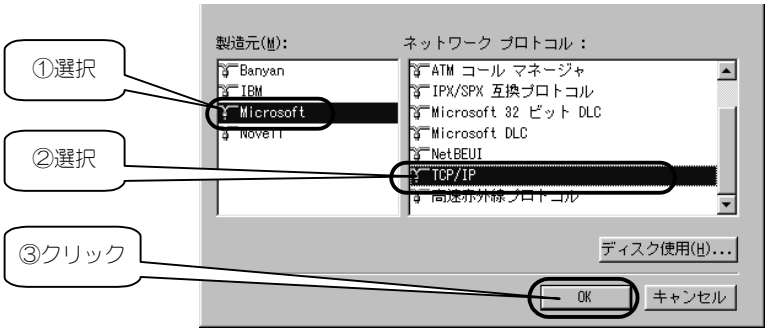
※以下の画面は、弊社製ET/TX-PCIシリーズを例にしています。



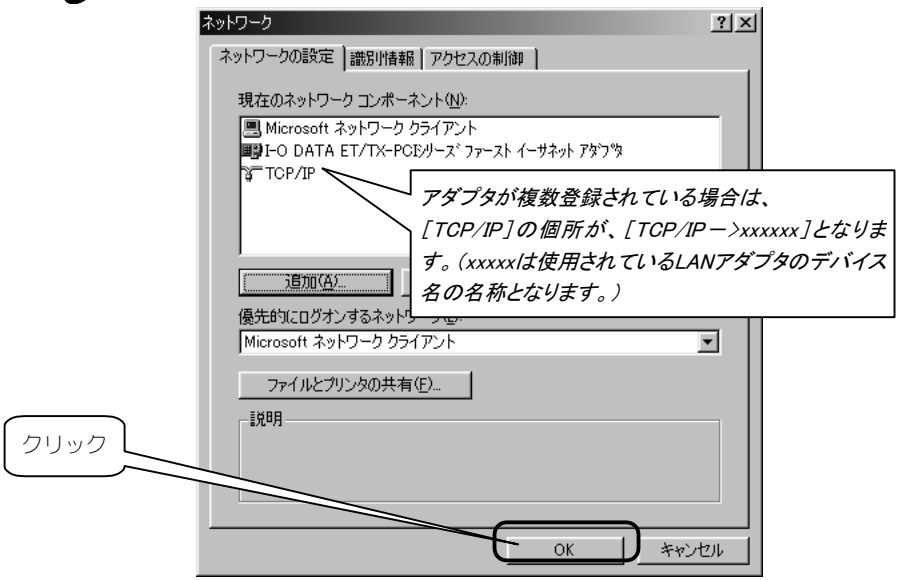
3 [プロトコル]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。



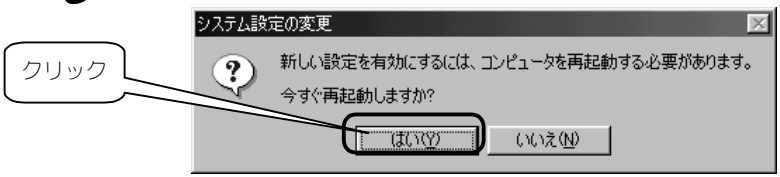
4 [Microsoft]の[TCP/IP]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



5 [OK]ボタンをクリックします。



6 [はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。



ADSL/FTTH/CATV接続時のトラブル

ADSL/FTTH モデム(ブリッジタイプ)を使ってインターネットに接続できない

原因1	この状態は、[WAN]側で PPPoE 接続の設定が有効になっていない状態を示しています。
対処	PPPoE 接続の設定を確認してください。 (【PPPoE で使用する】58 ページ参照)

原因2	パソコン側の TCP/IP 設定に誤りがある
対処	パソコン側の TCP/IP 設定をご確認ください。 IP アドレスを自動的に取得している場合は、IP アドレスの解放と書き換えを行ってください。 IP アドレスを固定で設定している場合は、パソコンに設定した IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーのアドレスを確認してください。

原因3	PPPoE の認証に失敗している。
対処	[WAN 側設定]→[PPPoE 認証接続設定]で[ユーザーID]と[パスワード]を再度入力してください。

原因4	接続先のプロバイダの認証方式([CHAP]または[PAP])と 本製品の認証方式の違いで、PPPoE の認証に失敗している。
対処	プロバイダに認証方式([CHAP]または[PAP]のいずれか)を確認してください。設定画面の[WAN 側設定]→[PPPoE 認証接続設定]で[認証形式]を変更してください。



参考

CHAP… ユーザー認証方式の1つで、PAP と違い、ユーザー名やパスワードを暗号化して通信するため、安全性が高い。

PAP… ユーザー認証方式の1つで、最も簡単な認証方式ですが、通信回線をモニターされるとユーザー名とパスワード情報が盗まれる可能性があります。

原因5	ADSL モデム（ブリッジタイプ）を使用するが、PPPoE 認証を使用しないサービス会社である。
対処	PPPoE 認証を行わないサービス会社の場合はブリッジタイプの ADSL モデムであっても PPPoE の設定を行う必要がありません。 DHCP を使用しますので、設定画面の［WAN 側設定］→［LAN 型接続設定］で［IP 自動取得接続設定］で設定してください。（58 ページ～参照）

原因6	使用している ADSL モデムがルータタイプのモデムである。
対処	ルータタイプの ADSL モデムと接続する場合には、PPPoE の設定は不要です。 NAT を使用する場合には設定画面の［WAN 側設定］→［LAN 型接続設定］で［IP 固定設定接続設定］で設定してください。（58 ページ～参照） ［IP アドレス］には、ADSL サービス会社から割り当てられたグローバル IP アドレスを設定してください。

ADSL/FTTH モデム（ブリッジタイプ）を設定したのに、［ステータス情報］の［接続状態］の表示が「－」のままとなっている

対処	前ページに該当する個所の【対処】を参照してください。

CATVに接続できない

原因1	[WAN]ポートに IP アドレスが設定されていない。
対処	IP アドレスが固定割り当ての場合は、あらかじめ本製品の[WAN]ポートに CATV 局から割り当てられた IP アドレスを設定する必要があります。 パソコンの IP アドレスを本製品の LAN コネクタ[1]～[4]側 IP アドレスと同じクラスのネットワークアドレスに合わせる必要があります。 本製品が工場出荷値の場合、パソコンの TCP/IP 設定に以下の値を使用します。 IP アドレス： 192.168.0.2～192.168.0.254 から任意のもの サブネットマスク： 255.255.255.0 デフォルトゲートウェイ： 192.168.0.1 その後、設定画面で本製品を設定してください。 ブラウザで本製品の設定を行う場合は、ブラウザの設定でプロキシサーバーを使わない設定にしてください。 ブラウザがプロキシサーバーを使用する設定になっていた場合、本製品の設定画面を呼び出す事ができません。 なおプロバイダからの指示がプロキシサーバーを使用する設定で案内されている場合は本製品の IP アドレスのみ、プロキシサーバーを使用しない設定にする必要があります。(【3. Web ブラウザを設定する】43 ページ参照)

原因2	CATV 局から IP アドレスを取得できていない。
対処	CATV 局によっては、MAC アドレスを登録したネットワーク機器のみでしか CATV に接続できなくしている場合があります。 MAC アドレスは、LAN ボード/カードや本製品などにそれぞれ別々の値が設定されていますが、CATV 局側が、本製品導入以前に接続していたパソコンの LAN ボード/カードの MAC アドレスを登録したままにしていると、本製品を導入しても CATV 局側が本製品の MAC アドレスを認識しません。CATV 局へ本製品の MAC アドレスに登録を変更する手続きを行ってください。 本製品の MAC アドレスは本体底面のシール、または設定メニューの[ステータス]で確認することができます。その際、CATV 局へ報告する MAC アドレスは WAN 側の MAC アドレスとなります。

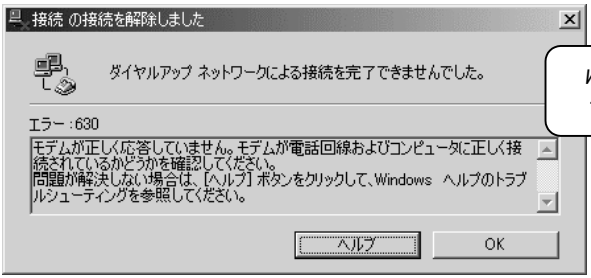
原因3	ケーブルモデムのメモリ内に以前接続していたパソコンの情報が記憶されている。
対処	ケーブルモデムのメモリ内に以前接続していたパソコンの情報が記憶されているためにケーブルモデムが本製品を認識できないという場合があります。 ケーブルモデムの初期化を行った後、再度接続してみてください。 (初期化の方法についてはケーブルモデムの取扱説明書などをご覧ください)

CATV を設定したのに、[ステータス情報]の[リース残り時間]または[IP アドレス]が取得できない

対処	前ページ【CATV に接続できない】の【対処】を参照してください。

ブラウザを起動すると、以下のエラーが表示される

「モデムが正しく応答していません。モデムが電話回線およびコンピュータに正しく接続されているかどうかを確認してください。」(以下の画面)



Windows Me での表示例

原因	ダイヤルアップネットワークでダイヤルアップする設定となっている。
対処	【3. Web ブラウザを設定する】(43 ページ)を参照して、Web ブラウザを設定してください。

TCP/IPの基礎知識

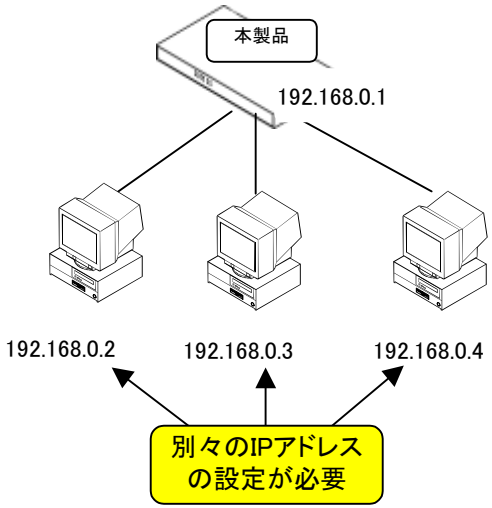
ここでは、本製品を使用する上で必要となるTCP/IPプロトコルのIPアドレスの基礎知識について説明します。必要に応じてお読みください。

・IP アドレス ・・・

IPアドレス

同じネットワーク上では別々のIPアドレスが必要

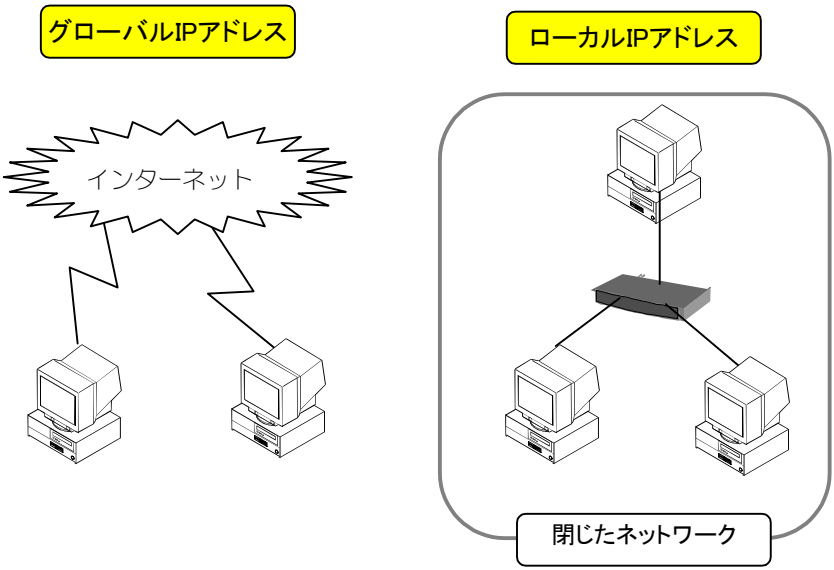
本製品を使用するには、本製品やパソコンにIPアドレスの設定が必要です。
また、設定するIPアドレスは、本製品および本製品に接続したパソコンのすべてに別々のIPアドレスが必要です。
IPアドレスとは、データを送受信するためのパソコン同士で理解できる住所のようなものです。
町の1軒1軒の家が別々の住所を持つように、パソコンも1台1台が別々のIPアドレスを設定する必要があります。同じIPアドレスを持つパソコンがあるとどちらにデータを送ればいいのかわからなくなるためです。
例えば、本製品は出荷時「192.168.0.1」のIPアドレスを持ちますが、ネットワーク上に、同じIPアドレスを設定したパソコンがあると、他のパソコンから本製品やその同じIPアドレスのパソコンにアクセスできなくなります。



インターネットのIPアドレスとLANのIPアドレス

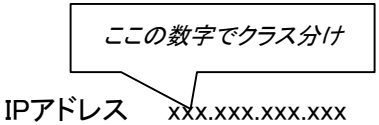
IPアドレスには、「グローバルIPアドレス」と「ローカルIPアドレス」（プライベートIPアドレス）があります。
「グローバルIPアドレス」は、インターネットで使用するIPアドレスです。
「ローカルIPアドレス」は、通常LAN内で使用するIPアドレスです。

グローバル IP アドレス	ネットワーク上で別々の IP アドレスが必要であるように、インターネットを利用する世界中のすべてのパソコンがそれぞれ別々の IP アドレスを使用する必要があります。この IP アドレスがグローバル IP アドレスです。 通常、プロバイダより割り当てられます。
ローカル IP アドレス	インターネットに接続されていない環境（家庭内のみ、会社内のみなど）では、ネットワーク内で別々の自由な IP アドレスを使用することができます。 この IP アドレスがローカル IP アドレスです。



LAN内で使用するIPアドレスのクラス

IPアドレスは、ネットワークを構成するパソコンの台数に応じて、3つのクラスに分かれます。
大規模なネットワークならば[クラスAのIPアドレス]、中規模なら[クラスBのIPアドレス]、小規模の場合は[クラスCのIPアドレス]となります。
同一のネットワーク内では、同一クラスのIPアドレスである必要があります。
実際には、本製品の出荷時のIPアドレス「192.168.0.1」のように、IPアドレスは、ピリオドで区切られた4つの数字の羅列で構成されていて、4つの数字の最初の数字の値で、クラスが分けられます。



例　本製品の出荷時のIPアドレス「192.168.0.1」の場合は「192」

クラスは以下のように分類されています。

IP アドレスの最初の数字※	クラス	用途（ネットワークを構成するパソコンの台数）
1～127	クラスA	大規模ネットワーク用（最大約 1600 万台）
128～191	クラスB	中規模ネットワーク用（最大約 65000 台）
192～223	クラスC	小規模ネットワーク用（最大約 250 台）

※「224～255」は通常の IP アドレスとしては使われていません。

例えば、数台～数10台で構成されるネットワークでは、クラスCのIPアドレスを使用します。
通常、ネットワークを構成する場合は、以下の特別なローカルIPアドレスを使用します。

クラス	設定する IP アドレス
クラスA	10.0.0.0 ～ 10.255.255.255
クラスB	172.16.0.0 ～ 172.31.255.255
クラスC	192.168.0.0 ～ 192.168.255.255

DHCP

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）とは、IPアドレスの自動割り当て機能のことです。
DHCPは、DHCPサーバーとDHCPクライアントで構成され、DHCPサーバーがDHCPクライアントに使用可能なIPアドレスを割り当てます。
例えば、本製品をDHCPサーバーとし、複数台のすべてのパソコンをDHCPクライアントに設定した場合、各パソコンは、パソコン起動時に使用可能なIPアドレスを入手し、終了時に開放します。

●*DHCP の特徴*

・個々のパソコンに IP アドレスをセットする手間が省けます。
・設定できる IP アドレスが変更された場合、DHCP サーバーのみの変更で済みます。
　そのため、クライアント側で IP アドレスを考慮する必要がなくなります。
　DHCP クライアント側では、DNS やゲートウェイ（ルータ）の IP アドレスも自動で設定されます。
・DHCP クライアント側の IP アドレスは、起動時毎に毎回異なる場合があります。



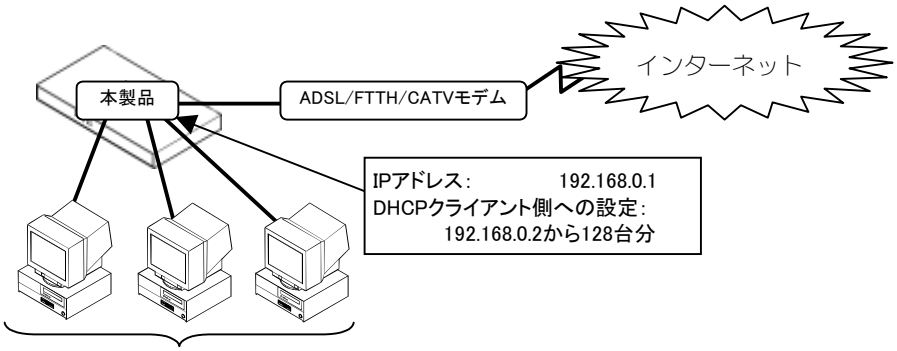
注意！

本製品を DHCP サーバーとした場合は、必ず本製品が正常に起動した後に、パソコンを起動してください。パソコンを先に起動すると IP アドレスが正常に割り当てられなくなる場合があります。

具体的なIPアドレスの設定例

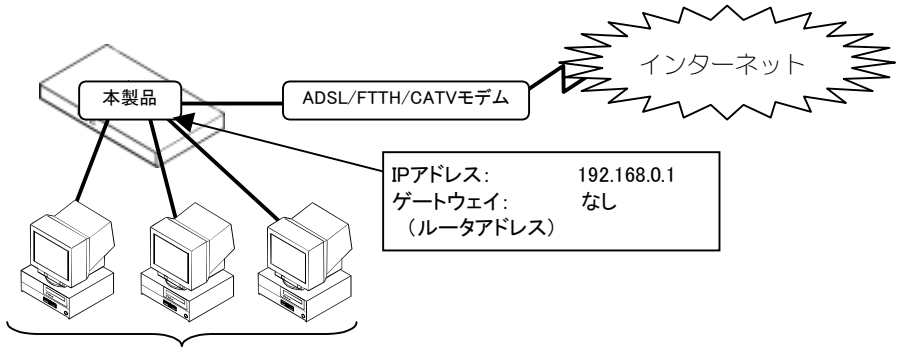
ここでは、小規模ネットワークでの、本製品を使用した場合の IP アドレスの具体的な設定例について説明します。

本製品をDHCPサーバーとして使用する場合の例



IPアドレス: [IPアドレスを自動で取得]
ゲートウェイ: 192.168.0.1

IPアドレスをすべて手動で設定する場合の例



IPアドレス:	192.168.0.2	192.168.0.3	192.168.0.4
ゲートウェイ:	192.168.0.1	192.168.0.1	192.168.0.1

●通信や接続が正しくできるかの確認方法（PINGコマンド）

Windows標準のPINGコマンドを使用して相手先のパソコンに正常に通信、あるいは接続が正常かを確認することができます。



注意！

PING コマンドを使用するには、TCP/IP がインストールされている必要があります。

1 [MS-DOSプロンプト]（またはコマンドプロンプト）を起動します。

・Windows XPの場合

［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を順にクリックして起動します。

・Windows 2000の場合

［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を順にクリックして起動します。

・Windows Meの場合

［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［MS-DOSプロンプト］を順にクリックして起動します。

・Windows 98/95の場合

［スタート］→［プログラム］→［MS-DOSプロンプト］を順にクリックして起動します。

・Windows NT 4.0の場合

［スタート］→［プログラム］→［コマンドプロンプト］をクリックして起動します。

2 以下のように入力し、[ENTER]キーを押します。

PING xxx.xxx.xxx.xxx　（xxx.xxx.xxx.xxx は相手先のIPアドレス）

入力例）　相手先のIPアドレスが「192.168.0.10」の場合は以下のように入力します。

PING　192.168.0.10

3 正常に相手先が表示されるか確認してください。

正常に接続されない場合、「Request timed out」や「Destination host unreachable」などと表示されます。

用語解説

i x ń Ő

10BASE-T

ツイストペアケーブル（10BASE-T ケーブル）を使用した Ethernet の通信方式の一つで、最大伝送速度は 10Mbps です。

100BASE-TX

ツイストペアケーブル（100BASE-TX ケーブル）を使用した Ethernet の通信方式の一つで、最大伝送速度は 100Mbps です。

ADSL *（Asymmetric Digital Subscriber Line）*

従来の電話回線（メタルケーブル）を利用し、専用のモデムで高速なデータ伝送を可能にしたデジタル技術の1つです。

CATV *（CAble TV）*

同軸ケーブルによって接続した限定地域に対して、多様なサービスを提供する TV 放送システムです。

DHCP *（Dynamic Host Configuration Protocol）*

自動的にネットワークの設定を行うプロトコル（通信手順）のことです。
DHCP サーバーはネットワークの DHCP クライアントに対して、自動的にネットワークの設定を行います。

DMZ *（DeMilitarized Zone）*

Web、DNS、FTP などの公開サーバをインターネット側からの不正な攻撃から守るため、ファイヤウォールにより設けられたセグメントです。

DNS *(Domain Name System)*

TCP/IP ネットワークで使われ、コンピュータについた名前と実際の IP アドレスを関連付けるシステムです。

DNS サーバー

ネットワークのグループについた名前を問い合わせると、その IP アドレスを教えてくれるサーバーのことです。DNS サーバーを使用することにより、WWW ブラウザ等のアドレス入力欄でアドレスを文字で入力することができます。
(IP アドレスの数値を直接入力する必要が無くなります)

Ethernet

Xerox 社、DEC 社、Intel 社の 3 社が仕様を開発した LAN の通信方式で、10BASE-T、10BASE5 等があります。

FTTH *(Fiber To The Home)*

光ファイバーを用いた高速デジタル通信網を個々の家庭まで敷設する通信ネットワーク構想です。

IP アドレス

TCP/IP プロトコル(インターネットで使用されている規約)を使用して構築されるネットワークで、接続されている全ての機器を区別するために付けられるアドレス(番地)のことです。

IP マスカレード

プロバイダから提供された一つのグローバル IP アドレスを複数のプライベート IP アドレスへ変換し、同時に複数台のコンピュータでインターネットに接続できるようにする機能です。NAT とは異なり、同時にインターネットへ接続できるコンピュータの台数は、プロバイダから提供されたグローバル IP アドレスの数には依存しません。
ただし、IP マスカレードでは正しく動作しないアプリケーションもありますので、その場合は NAT を使用します。

ISP *(Internet Service Provider)*

インターネット・サービス・プロバイダの略称です。(単にプロバイダと呼ばれることが多い)企業や個人に対しインターネットへ接続する通信サービスを提供する回線業者のことです。

LAN *(Local Area Network)*

ローカル・エリア・ネットワークの略称です。小規模なコンピュータネットワークのことです。
LAN に対して WAN(Wide Area Network)があり、WAN は LAN 同士を結ぶ大規模なネットワーク(インターネット等)のことです。

MAC アドレス *(Media Access Control Address)*

Ethernet 機器ごとの固有の物理アドレスで、通常は LAN アダプタに明記されています。
MAC アドレスは、先頭からの3バイトのベンダーコードと残り3バイトのユーザコードの6バイトで構成されています。
ベンダーコードは IEEE が管理/割当を行っています。ユーザコードは、Ethernet 機器のメーカーが独自の番号(重複することのない)で管理を行い、世界中で単一のアドレスが割り当てられています。Ethernet ではこのアドレスを元にしてフレームの送受信を行っています。

NAT *(Network Address Translator)*

LAN で使用しているプライベート IP アドレスをインターネットで使用できるグローバル IP アドレスへ変換することにより、プライベート IP アドレスしか持たない LAN のコンピュータからインターネットへ接続できるようにする機能です。
NAT の場合、プライベート IP アドレスとグローバル IP アドレスは 1 対 1 で対応していなければなりません。同時にインターネットへ接続できるコンピュータの台数は、ISP や RAS サーバーから提供されたグローバル IP アドレスの数に依存します。

POP *(Post Office Protocol)*

電子メールをスプールしているシステムから、TCP/IP プロトコルを使ってメールスプールの内容を読み出すためのプロトコルです。
プロトコル仕様は RFC1939 で定義されています。
POP3 サーバとは受信メールサーバのことを指します。

PPPoE *(PPP over Ethernet)*

ネットワーク(Ethernet)上で、ダイヤルアップ接続(PPP 接続)のような利用者のユーザー名、パスワードのチェックを行うために作り出された規格です。

SMTP *(Simple Mail Transfer Protocol)*

電子メールを送信するためのプロトコルです。
プロトコル仕様は RFC821 などで定義されています。
SMTP サーバとは送信メールサーバのことを指します。

TCP/IP *(Transmission Control Protocol / Internet Protocol)*

通信プロトコルの1つです。
最も普及しているプロトコルで、インターネット上の通信にも使われています。

Telnet

遠隔地からほかのコンピュータにログインして、遠隔操作を行なう仮想端末プロトコルです。プロトコル仕様は RFC854 で定義されています。
テキストベースの通信を行ない、コマンドを送信する際にはエスケープコードを利用します。一般的には TCP/IP のポート番号 23 番を使用します。

WAN *(Wide Area Network)*

通常は LAN に対比して使用される言葉で、遠隔地にあるコンピュータ同士(LAN同士)を公衆回線網を使って接続したネットワークのことです。

xDSL *(x Digital Subscriber Line)*

ADSL や SDSL、HDSL、VDSL などを総称して呼ぶ言葉です。

クライアント

ネットワーク内で、サービスを受ける側のことです。

グローバル IP アドレス

インターネットを使うことを許された IP アドレスです。

ゲートウェイ

通信手順の異なるネットワーク同士を接続するための機器やシステムです。
ゲートウェイに該当する機器の IP アドレス（ゲートウェイアドレス）をゲートウェイと呼ぶこともあります。

サーバー

ネットワーク内で、他のパソコン（クライアント）からの要求を受け、サービスを提供する側のコンピュータのことです。

サブネットマスク

LAN で使用可能なアドレスの範囲を決めるために、IP アドレスと組み合わせる値です。

スタティックルーティング

ルーティングするための情報をあらかじめルータに設定しておき、常に決まったルートを通って目的のノード（ネットワークに接続されているコンピュータ等）へパケット（ネットワーク内を流れるデータ）を送る方法です。静的ルーティングとも呼びます。

セッション

TCP/IP プロトコルによるデータ処理の単位です。

パケット

ネットワーク内を流れるデータです。

パケットフィルタ

ルータの機能を強化して、個々のパケットの単位で通過させたり、禁止したりできるようにしたものです。

ハブ

10BASE-T ケーブル（RJ-45 規格）を複数本集めて、通信を行うための LAN 機器（集配線装置）です。

ピアツーピア接続

サーバー／クライアントのような上下関係の無い対等な関係で行う通信のことです。

ファイヤウォール

組織内外からの通信すべてに対して、通過させたり、禁止したりすることによって、必要なサービスだけをユーザーに提供しつつ、セキュリティを確保します。
名前の由来は「防火壁（firewall）」に因んでいます。

ファームウェア

本製品内部で動作し、本製品のコントロールを行うプログラムです。

プライベート IP アドレス

組織内部のネットワークアドレスとして、自由に利用できる IP アドレス。
以下のものが利用できるとされています。

ClassA ： 10.0.0.0～10.255.255.255
ClassB ： 172.16.0.0～172.31.255.255
ClassC ： 192.168.0.0～192.168.255.255

ブリッジ

LAN のセグメント間を相互接続する機器で、OSI 参照モデルのデータリンク層で動作します。
パケットの衝突(コリジョン)が増え、パフォーマンスが低下するという事態を回避するためコリジョンドメインを制限して、ネットワークを効率化するために作られたネットワーク機器です。

リンク

各機器間を接続することです。

ルータ

複数の LAN 等、ネットワークを相互に接続するための機器です。
異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークを介して送信されるデータをきちんと目的の場所に届ける役目を持っています。
ネットワーク内を流れてきたデータが外部のネットワーク宛であれば、ルータはそのデータを外部に送り出します。
ルータはそのときにどういう経路でデータを配信するかまで判断し、最適なルートに送り出しています。
必要によっては通過させるデータやプロトコルの種類を制限することも可能です。

ルーティング

ネットワークのパケットを、正しく目的ノード（ネットワークに接続されている機器）へ届くように制御することです。

バーチャルサーバ

「バーチャルサーバ機能」といい、本製品では Web、DNS、FTP などのサーバーをインターネット上へ公開する場合に使用します。

仕様

規格	IEEE802.3u, IEEE802.3
インターフェース	LAN側： 10BASE-T/100BASE-TX(RJ-45) × 4ポート （スイッチングハブ搭載、MDI/MDI-X自動判別） WAN側： 10BASE-T/100BASE-TX(RJ-45) × 1ポート
対応プロトコル	TCP/IP
DHCP	DHCPサーバ： 最大253アドレス割り当て※ *※MACアドレス指定による固定割り当て可* DHCPクライアント
セッション数	1(PPPoEセッション) 最大256(IPマスカレードセッション)
MACアドレス接続制限	最大32エントリ
バーチャルサーバ	最大20エントリ DMZホスト登録機能
特殊アプリケーション	最大8エントリ
パケットフィルタ	OUT/IN各最大8エントリ ポート番号、IPアドレスでの設定
接続方式	PPPoE接続（ADSLなど※） 常時接続、オンデマンド接続（CATVインターネット、ADSLなど※） ※ご契約のキャリアプロバイダにより方式が異なります。
PPPoE	ON/OFF可
ログ	簡易ログ機能（Web画面で表示）、SYSLOG転送機能
電源	DC5V、最大1.5A
動作温度範囲	0～40℃
保存温度範囲	-10～60℃
動作湿度範囲	10～80%（結露無きこと）
保存湿度範囲	5～90%（結露無きこと）
寸法	190(W)×26(H)×111(D)mm
質量	約583g（本体のみ）

・NP-BBRE出荷時設定表

項目		初期値
WAN側設定	接続	LAN型接続設定
	IPアドレス	IP自動取得接続設定
	ホスト名	空白
	自動再接続	有効
	プライマリDNSアドレス	0.0.0.0(自動取得)
	セカンダリDNSアドレス	0.0.0.0(自動取得)
LAN側設定	IPアドレス	192.168.0.1
	DHCPサーバ	有効
	DHCPサーバ →開始IPアドレス	2
	DHCPサーバ →終了IPアドレス	32
	プライマリWINSアドレス	0.0.0.0(設定なし)
	セカンダリWINSアドレス	0.0.0.0(設定なし)
MACアドレス接続制限		無効
バーチャルサーバ		無効
特殊アプリケーション		無効
パケットフィルタOUT制限		無効
パケットフィルタIN制限		無効
管理者パスワード		設定なし
セキュアホスト		無効
DMZホスト		無効
SYSLOG転送		無効

アフターサービス

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsなど」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A Newsなど

ファームウェアをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のファームウェアをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新ファームウェア

② それでも解決できない場合は…

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…076-260-3644　東京…03-3254-1144
※受付時間　9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…076-260-3360　　東京…03-3254-9055
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に次ページの事項をご用意ください。

▼お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号およびFAX番号
氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
住所：〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
電話：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
FAX ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2. ご使用の弊社製品名とハードウェアシリアルNo.
製品名：NP-BBRE　　S/N No. ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

3. ご使用の本体のメーカー名および型番
メーカー：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
型番：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョンおよびメーカー名
OS：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿
アプリケーション：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

5. ご利用のインターネットサービスプロバイダ
（例：@nifty,So-net,BIGLOBEなど、キャリアプロバイダと同一の場合もあります。）
ISP名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
コース名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

6. ご利用のキャリアプロバイダ　（例：NTT東日本/西日本,Yahoo!BB,eAccessなど）
キャリアプロバイダ名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
コース名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

7. ご利用のADSL/FTTH/CATVモデムのメーカー名および型番
メーカー：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
型番：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

8. 本製品の設定画面が表示可能ですか？（複数選択可）
☐ 表示可能　☐ 表示不可能　☐ 他のパソコンで表示可能

9. 他のパソコンで表示可能な場合、OSのバージョンをお知らせください
OS：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

10. インターネット上のホームページが表示可能ですか？（複数選択可）
☐ 表示可能　☐ 表示不可能　☐ 他のパソコンで表示可能

11. 他のパソコンで表示可能な場合、OSのバージョンをお知らせください
OS：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

12. その他、現在の状態（どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージに内容）

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【サポートセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）

故障と判断された場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理について（つづき）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
　※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下の内容を書いたもの
　返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
　ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
　※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
　※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
　※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

NP-BBRE 取扱説明書
2002.Jul.03 116114-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町３丁目１０番地

© 2002 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。